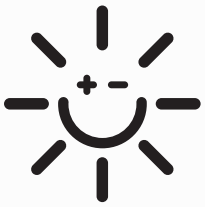
SHARP

第2版



太陽電池モジュール
パワーコンディショナ
蓄電池用コンバータ
蓄電池本体／蓄電池モジュール
マルチエネルギーモニタ JH-RWL8

太陽光発電システム
蓄電池システム

取 扱 説 明 書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

「COCORO MEMBERS」で「製品登録」をお願いします

入会特典
- 家電製品を WEB でまとめて管理できる！
- 登録製品に関する消耗品、取扱説明書などサポート情報へ簡単アクセス！
- 当社製品などが当たる抽選応募用「わくわくポイント」を進呈！
- 自動回答に加え、会員限定でオペレーターとチャットで相談ができる！

COCORO MEMBERSは、
シャープ製品/COCOROサービスをご利用の
お客様向けのシャープの会員サービスです。

ココロメンバーズ 検索

https://cocoromembers.jp.sharp/m/

もくじ

はじめに

安全にお使いいただくために 3
太陽光発電システム・蓄電池システムの取扱いについて 3
お手入れのしかた 8
太陽光発電システムの保守・メンテナンス 8
製品と取扱説明書について 9
特長 11

各部の名前とはたらき

マルチエネルギーモニタ 12

マルチエネルギーモニタの使いかた

ソーラートップ画面の見かた / 操作のしかた ... 14
電力と電力量 16
売電（売り電力）と買電（買い電力）について 16
蓄電池の状態について 16
蓄電池運転モードと充電／放電について ... 17
運転状態表示について 18
今日の自家消費率／蓄電池めやす使用可能時間表示について 19
おしらせの内容を見る 20
発電量ベスト５ 20
運用開始記念日 20

発電などの履歴を見る

履歴の種類 21
履歴画面の共通表示 21
履歴を見る 22
発電量／消費量の履歴を見る 22
売電量／買電量の履歴を見る 23
環境貢献度の履歴を見る 24
電気料金換算値を見る 24
省エネナビの履歴を見る 25
蓄電池残量の履歴を見る 25
運用開始からの履歴を見る 26

各種の設定をする

日時の設定を修正する 27
ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する ... 28
運用開始日を変更する 29
画面設定をする 30
料金換算を設定する 32
現在の設定を見る 33
タッチパネルの設定をする 33
省エネ目標を設定する 34
ECHONET Lite の設定をする 35
蓄電池運転モードを設定する 36
蓄電池運転情報を設定する 37
蓄電池キープ残量を設定する 39
蓄電池の実容量を診断する 40
自立運転の自動切り替えを設定する 41

ネットワーク設定をする

ネットワーク設定をする 42
ご利用前の確認 42
通信回線に接続する 43
自動ソフトウェアバージョンアップについて .. 43
通信に必要な設定をする 44
サーバー接続確認をおこなう 49
通信回線に接続できないときは 50

このようなときは

運転を停止 / 開始する 51
パワーコンディショナを再起動する 52
停電したときは 52
停電時に電気を使うには（自立運転） ... 53
太陽光発電システム、蓄電池システムを両方お使いの場合 53
蓄電池システムのみをお使いの場合 54
太陽光発電システムのみをお使いの場合 ... 55
自立運転に切り替える 56
連系運転に戻す 56
出力制御とは 57
出力制御情報を確認する 58
出力制御スケジュールを確認する 58
スケジュールサーバーと通信テストをする 59
出力制御スケジュールを取得する 60
故障かな？と思ったら 61
電圧アイコンが表示されたら 61
温度アイコンが表示されたら 62
温度範囲外アイコンが表示されたら 62
「お知らせします」と表示されたら 63
エラーコード概要 68
保証とアフターサービス 71
お客様ご相談窓口のご案内 72

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載事項に従わず使用されたことが原因による事故や故障などについては、当社は責任を負いかねます。
当社製 V2H システムを設置の場合は、V2H システムの取扱説明書および接続する車両の取扱説明書をあわせてご確認ください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
🚫 記号は、してはいけないことを表しています。
❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

太陽光発電システム・蓄電池システムの取扱いについて

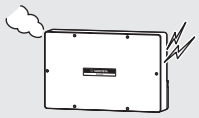
以後、蓄電池本体と蓄電池モジュールを合わせて、蓄電池と表します。一体型パワーコンディショナ、蓄電池連携型パワーコンディショナ、太陽電池パワーコンディショナを合わせて意味する場合は、パワーコンディショナと表します。

⚠ 警告

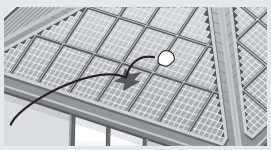
異常状態のまま放置しない。

以下の場合には、ただちにパワーコンディショナの運転を緊急停止（☞51 ページ）して、お買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。

🚫
- ●パワーコンディショナや蓄電池用コンバータから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合



- ●太陽電池モジュールが飛来物などで破損や落下した場合



- ●設置場所または隣接する建物で火災や浸水が発生した場合



なお、停止した後、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、太陽電池モジュールなどにはさわらないでください。感電・けがのおそれがあります。

自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に以下の製品をつながない。

🚫
- ●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- ●灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転用コンセント（☞55 ページ）は太陽光発電の電力を使用しますので、天候により供給できる電力が変動します。太陽光発電の発電量が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費量より小さいときは電力の供給を停止します。専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）（☞53、54 ページ）は蓄電池からも電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力の供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。

また、自立運転の自動切り替え（☞41 ページ）を設定している場合は、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器もご使用にならないでください。

自立運転出力を商用電力線につながない。

🚫 自立運転用コンセントや専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）と家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。予期せぬ感電・発火・発煙のおそれがあります。

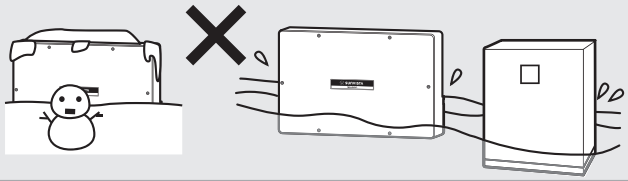
⚠ 警告

自立運転用コンセントには、自立運転時以外は電気機器を接続しない。

熱を発生する電気機器等のスイッチが ON の状態で接続されている場合、自立運転時に意図せずに動作し、発火のおそれがあります。

積雪、浸水のおそれのある場所にパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池を設置しない。

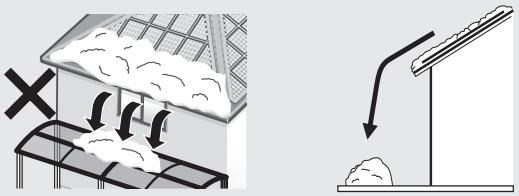
万一、浸水した場合は機器や配線には手を触れず、ただちにパワーコンディショナの専用ブレーカーを切り、お買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口にご連絡ください。
発火・感電・けがのおそれがあります。



太陽電池モジュールの設置後、設置屋根の軒下に、落雪によって被害を受けるものを置かない。

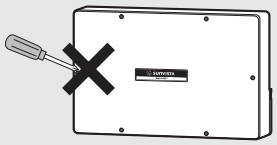
太陽電池モジュールの表面は、滑らかなガラスで覆われており、一般の屋根材（瓦等）と比較すると積もった雪が滑り落ちやすい状態になっています。このため、気象条件によっては屋根の上から勢いよく落雪したり、予想以上に遠くに落雪したりする場合があります。

落雪により、物損のおそれがあります。また、けがのおそれがあるため通行時の落雪にご注意ください。
落雪により、人や物に損傷を与えるおそれがある場合は、適切に雪止めなどの対応をおこなってください。当社製雪止め金具を取りつけた場合、雪が滑り落ちにくくなりますが、必ずしも落雪そのものを防止するものではありません。



パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータの正面・底面・側面のパネルを開けない。
パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、マルチエネルギーモニタ、電力センサー／主幹用電流センサー、ケーブルの分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

感電・けがのおそれがあります。

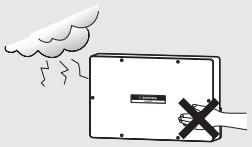


蓄電池の正面・側面のパネルを開けない。
蓄電池の分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

感電・けが・電解液の漏液のおそれがあります。

雷が鳴り出したらパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、ケーブルに触れない。

感電のおそれがあります。



パワーコンディショナは、太陽光発電システム、蓄電池システム以外には使用しない。

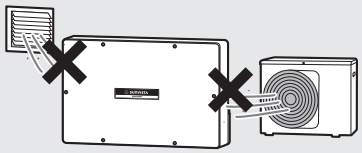
安全が保証できなくなり危険です。

蓄電池用コンバータ、蓄電池は、蓄電池システム以外には使用しない。

安全が保証できなくなり危険です。

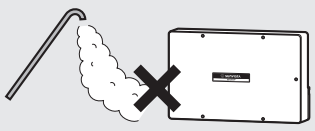
パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池付近に湯気、水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない。

絶縁が悪くなり、発火･感電のおそれがあります。



太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池付近で薬剤散布をしない。

絶縁が悪くなり、発火･感電のおそれがあります。



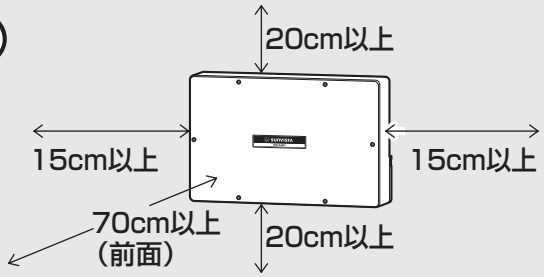
太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池に接続されているアース線は外さない。

発火･感電･けが･故障のおそれがあります。

⚠ 注意

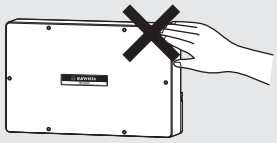
パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータの周辺（上下 20cm 以内、左右 15cm 以内）に物を置かない。通気口をふさがない。

内部の放熱が不十分となり、発煙・発火のおそれがあります。また、点検時の作業のため、前面 70cm 以内に物を置かない。



パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータが運転中、または運転停止後しばらくは、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータに触れない。

パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータが高温になり、けがのおそれがあります。



パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池に火気を近づけない。

石油ストーブ等に排気の風があたると、炎が大きくなり危険です。

パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池を薬品（シンナー等）や、ぬれた雑布で拭かない。また、高圧洗浄機等の水流を当てない。

内部に水が入り、感電・漏電・焼損するおそれがあります。



パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池を塗装しない。

日射によりケース内温度が異常に上昇し故障の原因になります。

マルチエネルギーモニタを、油のついた手、ぬれた手で使用しない。

火災・感電・故障の原因となります。

蓄電池本体の周囲に紙や草などの可燃物を置かない。

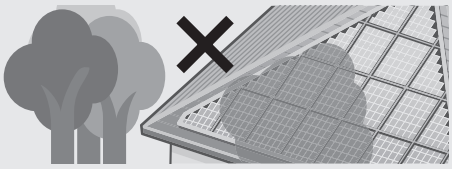
異常時に引火し、火災のおそれがあります。

パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池の中に物を入れない。

故障の原因になります。

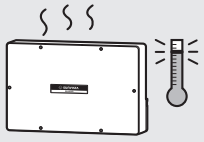
アンテナや木など太陽電池モジュールに影がかかるような状態にしない。

発電量低下の原因になります。



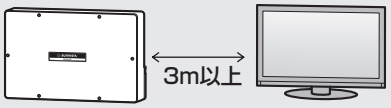
パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタは、高温になる場所または、閉め切った狭い場所で使用するような状態にしない。

発電量低下・充放電の停止の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損するおそれがあります。



ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから3m以上離す。

機器への受信障害の原因になります。



パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタの上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしない。

落下・転倒・けがのおそれがあります。



マルチエネルギーモニタをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない。
マルチエネルギーモニタ付近で、エアゾール製品（消臭剤、ヘアスプレーなど）を使用しない。

変色・変形・変質や故障の原因になります。



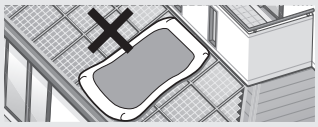
⚠ 注意

太陽電池モジュールのケーブルを引張ったり、曲げたり等、ケーブルにダメージを与えない。

断線や漏電のおそれがあります。

太陽電池モジュールに物を接触させない。（布団をかけるなど）

発電量の低下や故障(発熱)の原因となります。可燃物の場合には焼損の原因となります。



太陽電池モジュールのガラス面に乗らない。雪かきをしない。

故障の原因になります。また、ガラスが割れて、感電･漏電･けがのおそれがあります。

次の場所では無線 LAN を利用しない。

- **医療機関（病院など）の中**
- **医療用電気機器の近く**
- **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器（火災報知器など）の近く**

電子機器が誤作動するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

蓄電池を次のような場所には設置しない。

・振動、衝撃を受ける場所
・砂塵にさらされる場所
故障の原因になることがあります

太陽電池モジュールのガラス面に物を投げたり、落としたりしない。

ガラスが割れたり、故障の原因になります。

パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータのお手入れの際は、パワーコンディショナの運転を停止する。

感電のおそれがあります。またパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータの運転停止後しばらくは、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータが高温になり、けがのおそれがあります。

起動中や動作中に、手や導電性異物（金属など）をマルチエネルギーモニタのディスプレイに接触させたままにしない。

ディスプレイの誤作動の原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しない。

ディスプレイが破損する原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけない。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

爪先でマルチエネルギーモニタのディスプレイの操作をしない。

爪が割れたり、突き指などけがの原因となることがあります。

蓄電池を屋外に設置する場合は、海岸線から 500m 以内、または潮風の影響を受ける地域の屋外には設置しない。

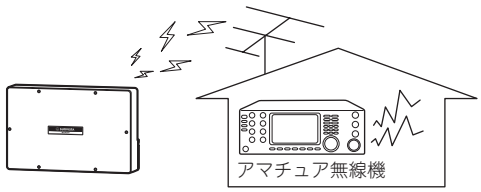
故障の原因となることがあります。
なお、一部機種では屋外での設置可能な条件が異なります。詳細は取扱説明書追補版（仕様）（☞ 9 ページ）の蓄電池本体の注釈をご覧ください。

蓄電池を屋内に設置する場合は、液体が触れる場所や湿気が多く風通しが悪い場所には設置しない。

故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

⚠ パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、配線から漏れる電気的雑音が、近隣のアマチュア無線やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。アマチュア無線の運用周波数によって影響が違いますが、見通せる範囲にアンテナがある場合は距離が離れていても影響を与える場合があります。特に HF 帯（30MHz 以下の周波数）で運用されているアマチュア無線局が 100m 以内の距離にある場合は、影響を与える場合が多くなりますので、ご注意ください。



⚠ 長く上手にご使用いただく為に、定期点検されることをおすすめします。お買いあげの販売店にご相談ください。

⚠ 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買いあげの販売店にご相談ください。

⚠ エラーや誤操作によってパワーコンディショナが停止することがあります。定期的にマルチエネルギーモニタにエラー表示などが出ていないかを確認することをおすすめします。

⚠ パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタは動作温度の範囲内でお使いください。

⚠ 無線 LAN を利用する場合、下記の条件では、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがありますのでご注意ください。
・コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
・障害物の近くへの設置
・同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉がある場合
・電子レンジなどの機器からの磁場、静電気、電波障害が発生するところでの利用

⚠ マルチエネルギーモニタは法令上、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。マルチエネルギーモニタをインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

⚠ 蓄電池システムはリチウムイオン電池を使用しております。
リチウムイオン電池を不適切な取扱・廃棄処理をすると、感電や製品の発煙・発火の恐れがありますので、適切な廃棄処理が必要です。
蓄電池システム機器の取りはずし・廃棄の際には、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口（☞裏表紙）にお問い合わせください。

お手入れのしかた

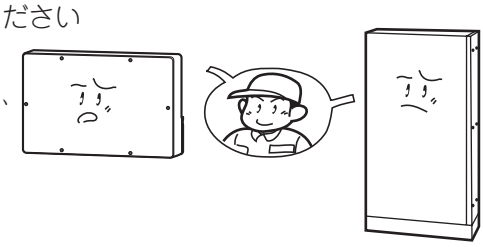
太陽光発電システム、蓄電池システムを長年ご使用いただくため、以下の要領でお手入れをお願いします。

ご注意

◆太陽電池モジュールは、屋根の上など高所に設置されることが多く、点検やお手入れは特に危険ですので、お買いあげの販売店にご相談ください。

パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池のお手入れ

- お手入れの際は、必ずパワーコンディショナの運転を停止してください（☞ 51 ページ）。連続運転のままでのお手入れは危険です。
- 日常のお手入れ（パワーコンディショナ本体通気口のほこり取り、表面の清掃）以外は、お買いあげの販売店に依頼してください。



マルチエネルギーモニタのお手入れ

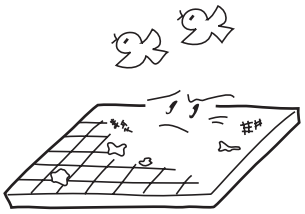


- 汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。液晶画面を拭くときは、あまり強く押さえないでください。故障の原因になります。
- マルチエネルギーモニタの内部には電子部品が入っていますので、水をかけないでください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

太陽光発電システムの保守・メンテナンス

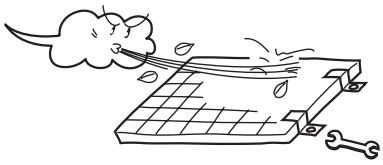
太陽電池モジュールのガラス表面の清掃

- 通常の汚れは、発電には問題ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙、落ち葉などがつき、ガラス表面が著しく汚れた場合は、発電効果が低下して、発電量が少なくなります。この場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。



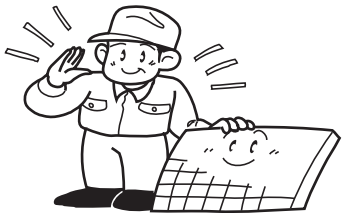
台風シーズンの前後に

- 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買いあげの販売店への相談をおすすめします。



保守・メンテナンス

- 太陽光発電システムは、定期的な点検をおこなうことをおすすめします。メンテナンスの内容については、お買いあげの販売店にご相談ください。



製品と取扱説明書について

・本製品では、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）まで、ご連絡ください。
・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・マルチエネルギーモニタのディスプレイは抵抗膜方式のタッチパネルを採用しているため、ディスプレイを同時に 2 箇所以上タップすると正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
・マルチエネルギーモニタのディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・本マルチエネルギーモニタは、ECHONET Lite 規格に準拠した製品として認証を取得しています。
・本マルチエネルギーモニタは、JC-STAR（セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度）★ 1 に適合しています。（登録番号：20260316000001791）

■ 取扱説明書について

・各システムには○印の取扱説明書、保証書などが付属します。

	太陽光発電システム	蓄電池システム
取扱説明書（本書）	○	○
マルチエネルギーモニタ保証書	○	○
太陽光発電システム／パワーコンディショナ保証書	○	○
蓄電池システム保証書	—	○

・太陽光発電システム、蓄電池システムともに日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書などはございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
・本書の記載内容、各種サービスなどの内容は、制作時点のものです。改良のため予告なく変更することがあります。
・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
・本取扱説明書に記載されているイラストや画面例は説明用のものであり、実物とは異なることがあります。

■ システム構成

各システムは、以下の機器で構成されます。
システムを併設される場合、共通の機器は共用できます。

● 太陽光発電システム

・太陽電池モジュール　・一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナまたは太陽電池パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ　・電力センサー／主幹用電流センサー　・接続用ケーブル類など

● 蓄電池システム

・蓄電池　・一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ　・電力センサー／主幹用電流センサー／ RPR センサー
・蓄電池用コンバータ　・接続用ケーブル類など

■ 蓄電池システムの設置にあたり補助金を受けた場合のご注意

・蓄電池システムの法定耐用年数は 6 年です。所有者（申請者）は、補助金ルールに従って適正に管理・運用してください。

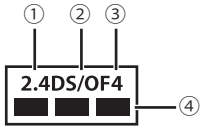
■ 取扱説明書追補版（仕様）ついて

・太陽光発電システムおよび蓄電池システムの各システム構成機器の仕様についてはシャープ HP に記載されています。
(https://jp.sharp/support/taiyo/doc/jhrwl8_tuihoban.pdf)
・上記追補版に記載がない機器につきましては、弊社サポートページからご覧ください。

■ 電波法に基づく適合証明について

・マルチエネルギーモニタは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、日本国内のみ使用できます。
・技術基準適合証明を受けていますので、分解／改造をすると法律で罰せられることがあります。
・マルチエネルギーモニタが使用する周波数帯は、2.4GHz 帯です。
・マルチエネルギーモニタには、本体にも使用する周波数帯が記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

無線 LAN



①「2.4」	：使用する周波数帯域を表します。（2.4GHz 帯）
②「DS/OF」	：変調方式を表します。（OFDM 方式 /DS-SS 方式）
③「4」	：想定される与干渉距離（約 40m）
④「■■■」	：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能である ことを表します。

■ 電波干渉に関するご注意

2.4GHz 機器使用上の注意事項

2.4GHz 使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにご使用中のルーターより使用チャンネルを変更するか、この機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ 電波障害に関するご注意

マルチエネルギーモニタは、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときには、次の点にご注意ください。

・ラジオ、テレビをマルチエネルギーモニタから十分に離してください。

■ 登録商標、商標

・Wi-Fi Protected Setup（WPS）は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
・「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
・エネファームおよび ENE･FARM ロゴは ENEOS 株式会社、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社の登録商標です。
・エコウィルおよび ECOWILL ロゴは大阪ガス株式会社の登録商標です。
・その他記載されている会社名、システム名、製品名は各企業、団体の商標または登録商標です。

■ マルチエネルギーモニタで使用しているソフトウェアについて

・本製品は、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）等のオープンソースソフトウェアを使用しています。詳細は当社ホームページでご確認ください。
https://jp.sharp/support/taiyo/software.html

特長

この製品は太陽光発電システムと蓄電池システムを組み合わせて使用できるシステムです。

電力をつくる

太陽光発電システム

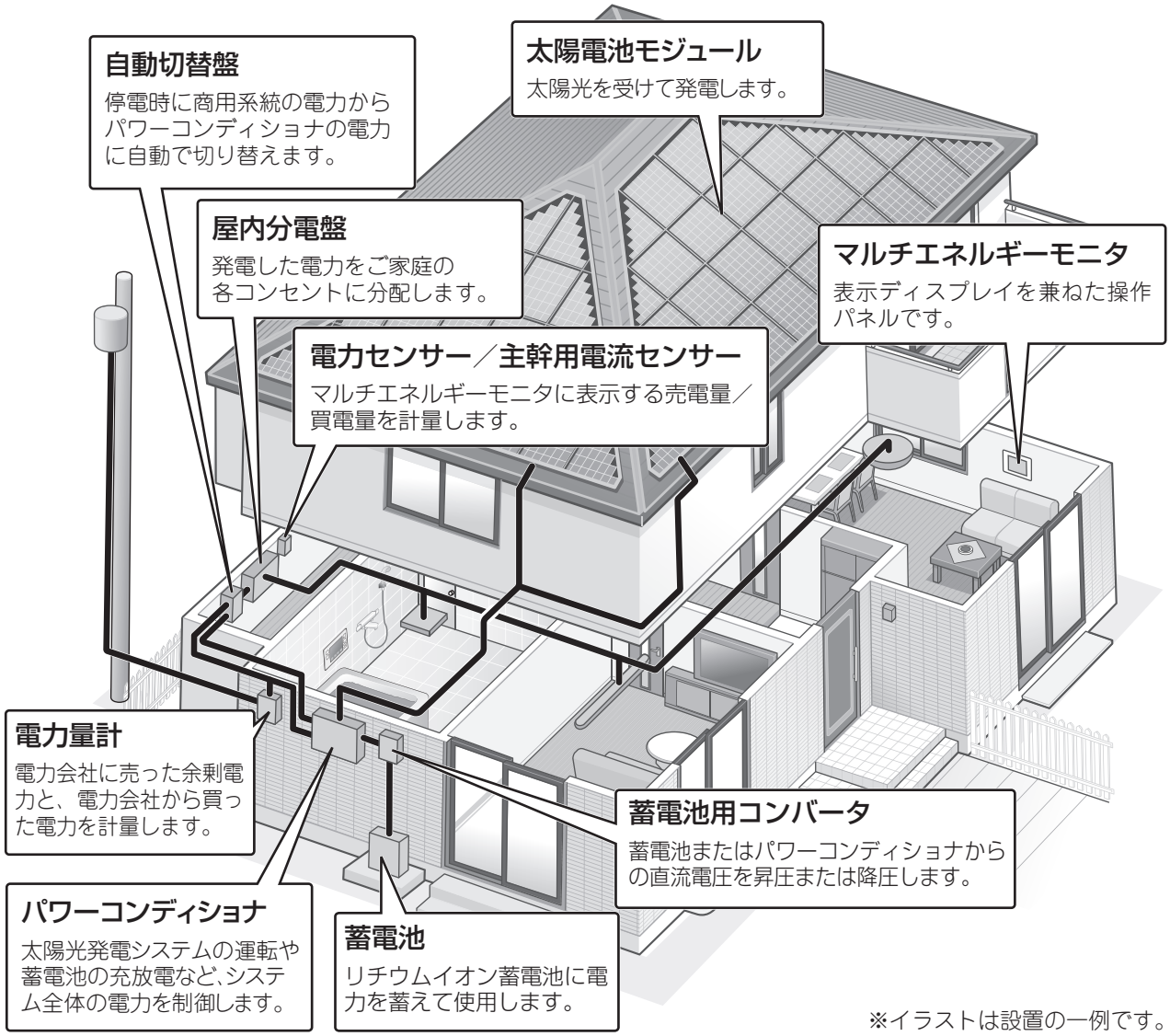
太陽光エネルギーを家庭で使える電力に変換します。
発電した電力で、使用する電力をまかなうとともに、余った電力は売電できます。

＋

電力をためる

蓄電池システム

停電時に備えて電力を蓄えます。
平常時は夜間の割安な電力を蓄え、発電量の少ない時間帯に使用することができます。



※イラストは設置の一例です。

※ハイブリッドパワーコンディショナをお使いの場合は、蓄電池用コンバータは不要です。
※システム構成によっては、自動切替盤は不要となる場合があります。詳しくはお買いあげの販売店または工事店へお問い合わせください。
※蓄電池システムをご使用になる場合には、電力センサー／主幹用電流センサーが必要です。
※当社製 HEMS 機器と接続できます。詳細は、当社サポートページ（https://jp.sharp/support/taiyo/）をご参照ください。ただし、当社製 HEMS 機器は太陽光発電の全量買取方式には対応しておりません。

マルチエネルギーモニタ

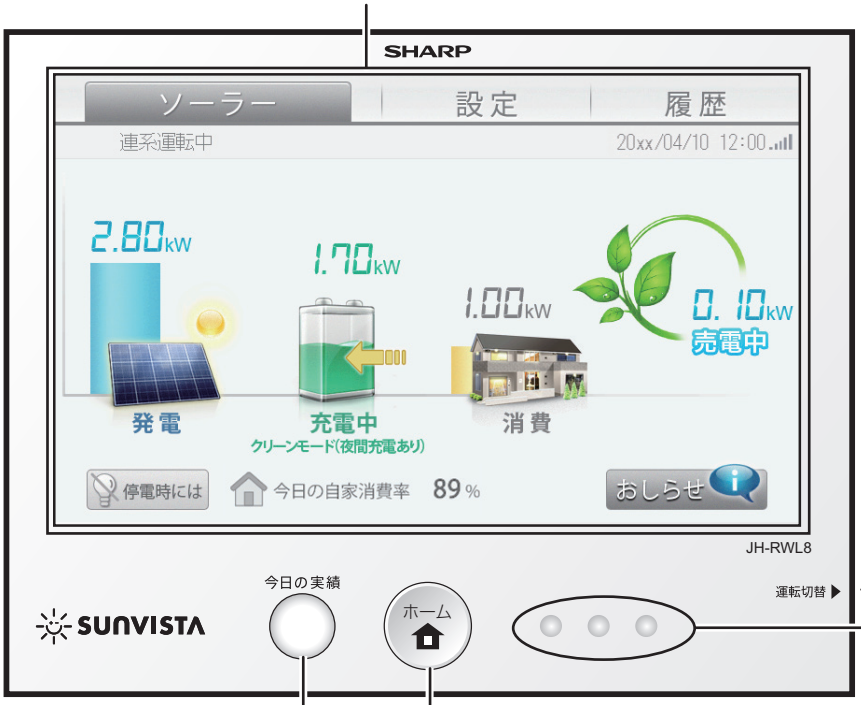
マルチエネルギーモニタは、表示ディスプレイとパワーコンディショナのコントローラを兼ねています。発電履歴の閲覧、各種の設定などのおもな操作は、マルチエネルギーモニタでおこないます。

◆ 前　面

リセットボタン
マルチエネルギーモニタの再起動をします。

ディスプレイ（タッチパネル）
運転状態、発電状態などを表示するとともに、画面をタップすることで操作ができます。

運転切替ボタン
パワーコンディショナ運転状態（運転 / 停止）、運転モード（連系運転 / 自立運転）の切り替えをおこないます。



今日の実績ボタン（☞ 22 ページ）
今日の発電量／消費量の履歴を表示します。

ホームボタン（☞ 14 ページ）
ソーラートップ画面に戻ります。
周辺部の LED でシステムの運転状態を表示します（右表参照）。
電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、かつ、設置時に「余剰買取」の設定をしている場合は、橙色点灯します。自立運転中は、青色点灯します。

ホームボタン 周辺部の LED	運転状態
青色点灯	売電中（発電しているとき）
橙色点灯	買電中（発電しているとき）
橙色点滅	点検
消灯	上記以外の状態

運転状態表示ランプ
パワーコンディショナごとの運転状態を表示します。

運転状態表示ランプ	運転状態	
	太陽電池パワーコンディショナ	一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナ
緑色点灯	連系運転中	連系運転中（発電しているとき）
緑色点滅	連系準備中 連系手動停止中	–
赤色点灯	自立運転中	自立運転中 連系運転中（発電していないとき）
赤色点滅	自立準備中、自立手動停止中、点検	
消灯	自動停止中	連系準備中、連系手動停止中、自動停止中

左側から 1 台目、2 台目、3 台目のパワーコンディショナの状態を表示しています。

◆ 左側面



リセットボタン
マルチエネルギーモニタの再起動をします。

◆ 右側面



運転切替ボタン（☞51、56 ページ）
パワーコンディショナ運転状態（運転 / 停止）、運転モード（連系運転 / 自立運転）の切り替えをおこないます。

[運転切替ボタンロック機能]
このボタンを 5 秒以上長押しすると、運転切替ボタンはロック状態となります。運転切替ボタンのロック状態を解除するためには、このボタンを 5 秒以上長押しすると、解除されます。運転切替ボタンがロック状態でも、他の操作は可能です。

お願い

- **マルチエネルギーモニタには保護フィルムが貼ってあります。ご使用の際にははがしてください。**
  保護フィルムを貼ったままご使用になると、タッチパネルの感度が悪くなります。
- **設置中のマルチエネルギーモニタの横スペースは十分に確保してください。**
  インターホン等を隣に隙間なく設置されてしまうと、リセットボタンおよび運転切替ボタンの操作が困難になる可能性があります。

マルチエネルギーモニタの使いかた

ソーラートップ画面の見かたと、おもな操作について説明します。
当社製 V2H システムを設置の場合は、V2H システムの取扱説明書をあわせてご確認ください。

ソーラートップ画面の見かた / 操作のしかた

ソーラートップ画面には現在の発電電力、電力会社へ売っている余剰電力、蓄電池の残量、充放電状態などが表示され、システムの状態がひと目で確認できます。
※ 表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

タブ（ソーラー、設定、履歴）
タブをタップすると、選択された画面のトップ画面へ移行します（☞ 21、27 ページ）。
設定、履歴のタブをタップすることで、各種設定の変更、履歴の確認をおこないます。

運転状態
パワーコンディショナを 1 台のみ接続している場合、
パワーコンディショナの運転状態を表示します。
複数台接続しているときは非表示となります（☞ 18 ページ）。

モニタリング通信アイコン
Web モニタリング通信中になると点灯します。

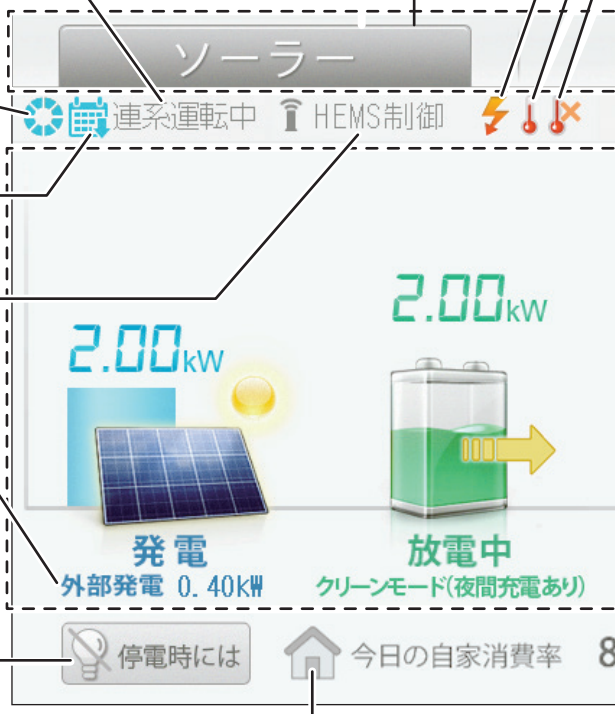
出力制御スケジュールアイコン（☞ 57 ページ）
出力制御スケジュールの取得状態を表示します。

HEMS 制御アイコン
HEMS からの指示で、設定した蓄電池運転モードや
キープ残量が変更されているときに表示します。

外部発電（☞ 31 ページ）
外部発電センサーを取り付けている場合に、その発電電力を表示します。
外部発電機とは、この製品と合わせて使用できる燃料電池やガス発電機などです。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

停電時には **（☞ 52 ページ）**
停電時の操作方法が表示されます。

※太陽光発電システム、蓄電池システムの片方だけをお使いの場合や、蓄電池を 2 台接続している場合は、利用するシステムに応じた表示になります。蓄電池システムのみの場合は「ソーラー」タブは「蓄電池」タブに変わります。



今日の自家消費率／蓄電池めやす使用可能時間表示（☞ 19 ページ）
連系運転時は発電電力をどの程度ご家庭で活用できたかを表示します。自立運転時には蓄電池がご利用になれるめやすの時間を表示します。

メモ

- 売電電力／買電電力および消費電力の表示には、電力センサー／主幹用電流センサーが必要です。
- 設置時に「全量買取」の設定をしている場合、消費電力は表示されません。
- 消費電力は発電電力、外部発電電力、売買電力、蓄電池の充放電電力から計算しています。
- 現在日時の表示と実際の日時が異なるときは、正しい日時に設定してください（☞ 27 ページ）。
- 「設定」からトータル表示（外部発電を含む）を選択すると、外部発電電力を発電電力に加えることが可能です。その場合、外部発電電力は、トップ画面から表示が消えます（☞ 31 ページ）。
- ディスプレイが消えているときは、ディスプレイをタップすると、ソーラートップ画面を表示できます。
- ご家庭の負荷の状況により、放電量が 0kW になる場合があります。
- 「タップ」とは、画面を軽く押して、すぐに指を離す操作のことです。
- この製品は計量法の対象製品ではありません。表示される発電電力、消費電力、売電電力、買電電力などの各電力値は目安であり、電力会社が設置する電力量計や電力会社からの請求書の値とは異なることがあります。

電圧アイコン（☞ 61 ページ）

温度アイコン（☞ 62 ページ）

温度範囲外アイコン（☞ 62 ページ）

電波強度アイコン
電波強度を 5 段階で表示します。無線の設定がおこなわれていない場合、または、有線接続の場合は非表示となります（☞ 44 ページ）。

現在日時（☞ 27 ページ）
現在の日付と時刻を表示します。





太陽光発電、蓄電池（2 台）

出力制御中表示（☞ 57 ページ）
出力制御スケジュールに従って、発電量が制限されているときに表示します。

（左から）

発電
現在発電している電力を表示します。
自立運転中は発電量が 0kW と表示されることがあります（☞ 65 ページ）。

充電中 / 放電中 / 待機中 / 停止中 / 診断中（☞ 16 ページ）
蓄電池の状態と現在の充放電電力、蓄電池運転モード（☞ 17 ページ）を表示します。蓄電池の残量はアイコンで 5 段階表示します。自立運転中は、蓄電池運転モードは非表示になり、残量が少なくなるとアイコンが点滅します。

消費
現在ご家庭で消費している電力を表示します。

売電中 / 買電中（☞ 16 ページ）
蓄電池を接続していない場合、または蓄電池が放電していないときに、電力会社に売っている電力、または電力会社から買っている電力を下図のように表示します。
状態によって下記のように表示が変わります。売買電力が 0 のときは、「買電中」と表示され 0kW になります。

電力を売っているとき	電力を買っているとき
	

蓄電池が放電しているときは、下図のように表示します。

放電し、電力も買っているとき	放電し、電力をほとんど買っていないとき
	

おしらせ（☞ 20 ページ）
発電量ベスト 5 記録や、運用開始記念日などのおしらせを確認できます。新しいおしらせがある場合は、おしらせアイコンを表示します。

メモ

●トップ画面に表示される蓄電池の台数は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナの台数です。1 台の蓄電池連携型パワーコンディショナに 2 台の蓄電池が接続されている場合でも、1 台として表示します。

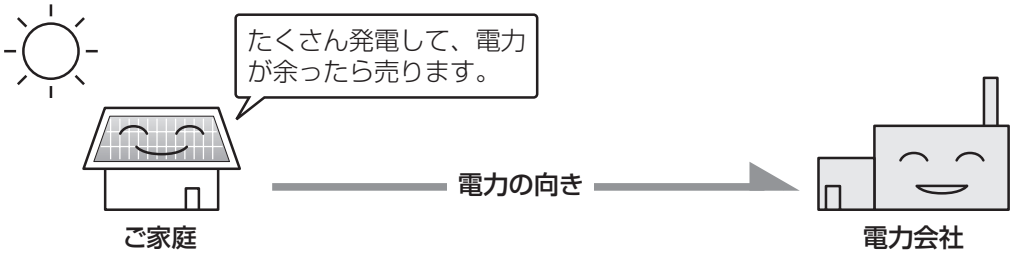
電力と電力量

電力とは、ある瞬間の電流の力です。単位は「kW」です。
電力量とは、ある時間内の電力の合計値です。単位は「kWh」です。
例として、２kW の電力を３時間使い続けると、消費された電力量は６kWh になります。

売電（売り電力）と買電（買い電力）について

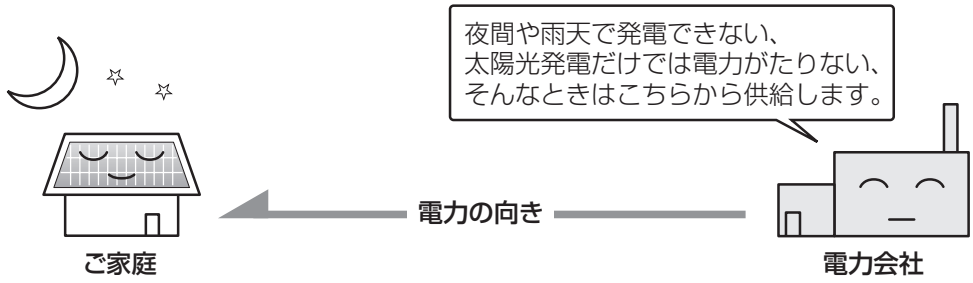
発電電力が多く、使用している電力を上回っているときは、余った電力を電力会社に売ります。この状態を売電状態と呼びます。逆に、発電電力が少なかったり、夜間や雨天などで発電していなかったりすると、電力会社から不足している電力の供給を受けます。電力を電力会社から購入しているため、この状態を買電状態と呼びます。
※売電するには、電力会社との売電契約が必要です。

売電状態



※売電状態では、蓄電池からの放電はおこないません。蓄電池システムは待機状態になります。

買電状態



蓄電池の状態について

蓄電池の状態は充電中、放電中、待機中、停止中、診断中で表示します。

充電中：電力会社からの電力または太陽光発電の余剰電力を蓄電池に蓄えています。
放電中：蓄電池に蓄えた電力を交流に変換して家庭内に供給しています。
待機中：充電も放電もおこなっていない状態です。
停止中：エラーが発生し、停止している状態です。
診断中：蓄電池実容量診断（☞ 40 ページ）をおこなっている状態です。

■蓄電池からの逆潮流について

本書は蓄電池に蓄えた電力を電力会社に供給しない前提の動作を記載しています。蓄電池に蓄えた電力を電力会社に供給する場合は、一部の画面表示や動作が異なる場合があります。

蓄電池運転モードと充電／放電について

連系運転状態では、蓄電池の充電 / 放電は以下６つの蓄電池運転モードに従って制御されます。
蓄電池実容量診断（☞ 40 ページ）をおこなっているときは、蓄電池運転モードによる制御はおこなわれません。
当社製 V2H システムを設置の場合は、一部の運転モードの内容が変更となります。
詳細は V2H システムの取扱説明書をご確認ください。

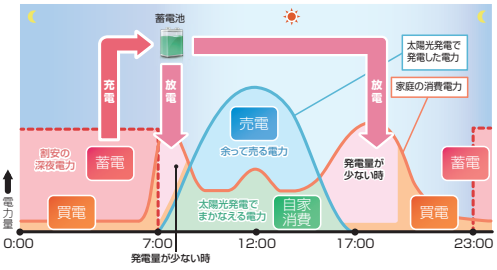
●経済性モード（自動）
夜間時間帯（☞ 37 ページ）に充電をおこない、夜間時間帯以外の時間帯の買電中に放電をおこないます。

●経済性モード（時刻指定）
夜間時間帯外で放電開始時刻を設定します。夜間時間帯に充電をおこない、設定した放電開始時刻以降の買電中に放電をおこないます。

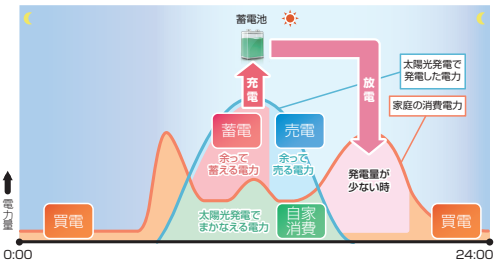
●クリーンモード（夜間充電なし）
太陽光発電の余剰電力で充電をおこない、買電中に放電をおこないます。電力会社からなるべく電力を買わないようにします。ただし、蓄電池残量が少ない状態が続くと、蓄電池保護のため、自動的に電力会社からの電力で充電することがあります。

●クリーンモード（夜間充電あり）
太陽光発電の余剰電力または夜間時間帯に充電をおこない、夜間時間帯以外の買電中に放電をおこないます。電力会社からなるべく電力を買わないようにします。

経済性モードの電力活用の一例



クリーンモードの電力活用の一例



●充電モード
蓄電池への充電を優先的におこないます。蓄電池残量が少ない場合や、非常時に備えて、蓄電池残量を増やす場合に使用します。充電完了後、待機状態となり、24 時間経過すると、元の運転モードに戻ります。

●ECHONET Lite 機器専用モード
ECHONET Lite 対応機器から充電・放電の制御を受け付けている状態です。手動でこのモードに切り替えることはできません。

また、蓄電池残量が蓄電池キープ残量（☞ 39 ページ）以下になると、放電は停止します。ただし、蓄電池保護のため、設定した蓄電池キープ残量になる前に放電を停止する場合があります。
蓄電池運転モードによらず、充電時に蓄電池残量が 100% 近くになると、充電⇔待機を繰り返すことがありますが、蓄電池の自動調整動作であり故障ではありません。また、蓄電池残量が少ない場合や満充電近くでは、蓄電池残量の自動補正のため、残量変化を早く感じることがありますが故障ではありません。
周囲温度や使用する機器、蓄電池残量などの諸条件により、パワーコンディショナおよび蓄電池の保護機能が働き、充放電電力を抑制することがあります。

買電量が少ない（0.1kW 未満）ときは、放電をおこなわない場合があります。
余剰電力を充電する場合、若干量の売電（0.5kW 程度まで）をおこないながら充電します。天候や消費によって変動する余剰電力で充電するため、電力会社からなるべく電力を買わないように制御します。

メモ

- 「ECHONET Lite」は、HEMS（Home Energy Management System）と、家電機器、太陽光発電システム、蓄電池などの機器間の情報のやりとりや制御を規定した通信規格です。
- 夜間時間帯とは、蓄電池の設定における、電力会社との契約で電力が割安な夜間の時間帯のことです（☞ 37 ページ）。
- HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池運転モード、キープ残量設定値が変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます（☞ 14 ページ）。
- 消費電力が短時間で大きく変動する機器（IH クッキングヒーターのグリルやトースターなど）の使用時は、蓄電池から放電されない場合があります。

運転状態表示について

パワーコンディショナが 1 台のみ接続されている場合、画面上部に、パワーコンディショナの運転状態を表示します。



運転モード		太陽電池パワーコンディショナ	一体型／蓄電池連携型パワーコンディショナ
連系	連系運転中	日中、太陽光発電がおこなわれている状態です。	太陽光発電がおこなわれているか、商用電源と連系して蓄電池の充放電がおこなわれているか、待機中の状態です。
	連系準備中	運転の開始または停止を準備している状態です。	
	連系手動停止中	連系運転を手動で停止した状態です。	
自立	自立運転中	太陽光発電で発電した電力を自立運転用のコンセントにのみ供給している状態です。	発電した電力や蓄電池に蓄えた電力を専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）にのみ供給している状態です。
	自立準備中	自立運転の開始または停止を準備している状態です。	
	自立手動停止中	自立運転を手動で停止した状態です。	
その他	自動停止中	夜間など、日照がなく発電を停止している状態です。	マルチエネルギーモニタとパワーコンディショナが通信できない状態です。
	点検	システムの異常を検出し、エラーコードが出ているときに表示される状態です（☞ 68 ～ 70 ページ）。	

メモ

- 停電時などは非常用「自立運転」に切り替えることができます。自立運転では、自立運転用コンセント、または専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）のみに電力が供給されます。自立運転については ☞ 53 ～ 56 ページをご覧ください。
- 手動で停止しなくても、「連系手動停止中」や「自立手動停止中」と表示される場合があります。
- 自立運転用コンセントは、停電時に太陽光発電の電力が供給されることで使用できるコンセントで、平常時は使用できません。太陽光発電の発電量が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費量より小さいときは、電力の供給を停止します。
- 専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）は、平常時も停電時も使用できます。停電時には自立運転により、太陽光発電で発電した電力や蓄電池に蓄えた電力が供給されます。最大出力は機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のパワーコンディショナの定格出力（自立運転時）欄をご確認ください。
- 蓄電池連携型パワーコンディショナを蓄電池を接続せずに設置している場合、専用コンセント／専用配線／専用分電盤を連系運転中に使用すると、機器構成によってはエラーにより運転が停止する可能性があります。

今日の自家消費率／蓄電池めやす使用可能時間表示について

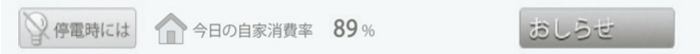
システムの運転状態に応じて、ソーラートップ画面の下部に当日の自家消費率または蓄電池めやす使用可能時間を表示します。



システムの運転状態	表示内容
連系運転	今日の自家消費率表示
自立運転	蓄電池めやす使用可能時間表示 （蓄電池システムを接続していない場合は、表示されません）

（1）今日の自家消費率表示

今日発電した電気をどれだけご家庭で使ったかを表示します。数値は 1 分ごとに更新されます。
（発電量＋外部発電量－売電量）÷（発電量＋外部発電量）の値になります。



（2）蓄電池めやす使用可能時間表示

現在のご家庭の消費電力を蓄電池のみでまかない続けた場合に、蓄電池が使えるおおよその時間を表示します。数値は 5 分ごとに更新されます。



メモ

- 表示される時間はめやすです。動作を保証するものではありません。
- 蓄電池残量がなくなるなど放電ができない場合や、計算に必要な値が取得できない場合などは「-- 時間」と表示されます。
- 蓄電池めやす使用可能時間は現在の蓄電池残量と過去 30 分間の消費電力量から計算しています。そのため、太陽光発電がおこなわれている場合や、機器の使用条件によって変動します。
- 周囲温度や使用する機器、蓄電池残量などの諸条件により、パワーコンディショナおよび蓄電池の保護機能が働き、表示された時間のとおりに使用できない場合があります。
- 蓄電池が接続されたパワーコンディショナが 2 台ある場合は、2 台の合算値で計算するため、電気配線によって、表示された時間のとおりに使用できない場合があります。
- システムにエラーが発生している場合などは、表示されないことがあります。

おしらせの内容を見る

最大発電量の記録が更新されるなど、新しいおしらせがあると、おしらせアイコンがトップ画面に表示されます。以下の操作でおしらせの内容を確認できます。 が表示されている項目のすべての画面を表示するとアイコンは消えますが、おしらせの内容を再確認するときも操作は同じです。



1 トップ画面で [おしらせ] をタップする

おしらせ画面が表示されます。



2 見たいおしらせを選ぶ

確認していないおしらせには が表示されます。

- 戻る ：
  ソーラートップ画面に戻ります。

発電量ベスト5

発電量ベスト5画面では、１日の発電量の大きいものから上位5番目までを確認できます。
記録を達成した日付と、達成した値を表示します。未読の最新のデータには が表示されます。

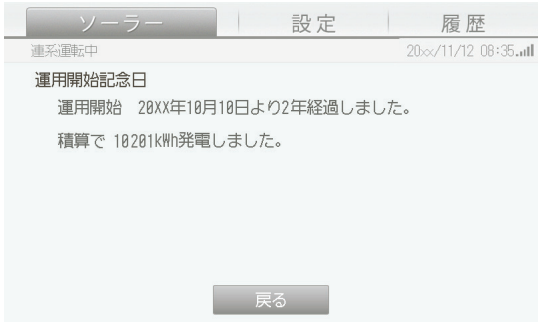


- 戻る ：
  おしらせのトップ画面に戻ります。

- すべて 今年 今月 ：
  ボタン名に対応した期間のベスト5記録を表示します。

運用開始記念日

運用開始日から１年経過するごとに更新され、経過した年数と積算発電量を確認できます。



- 戻る ：
  おしらせのトップ画面に戻ります。

メモ

●パワーコンディショナを複数台設置している場合は、発電量は総発電量で記録されます。
●運用開始日は変更することもできます（☞ 29 ページ）。

履歴の種類

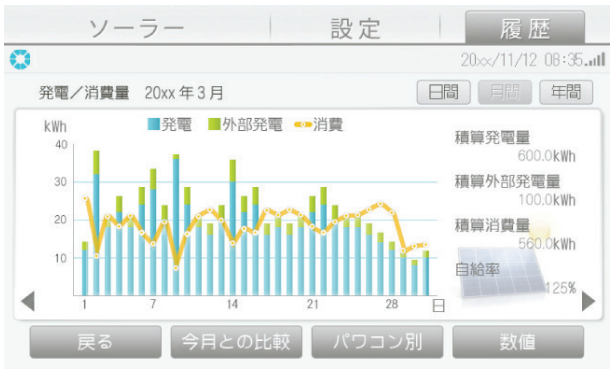
発電量や売電量／買電量などの履歴を確認できます。
履歴には以下の種類があり、表示期間を選ぶ、グラフと数値を切り替えるなど、さまざまな形で確認できます。



1 トップ画面で履歴タブをタップして、確認する項目をタップする

発電量／消費量履歴：☞ 22 ページ
電気料金換算：☞ 24 ページ
運用開始からの積算履歴：☞ 26 ページ
売電量／買電量履歴：☞ 23 ページ
省エネナビ：☞ 25 ページ
環境貢献：☞ 24 ページ
蓄電池残量履歴：☞ 25 ページ

履歴画面の共通表示



- 日間 月間 年間 ：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀ ：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶ ：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る ：一つ前の表示に戻ります。

メモ

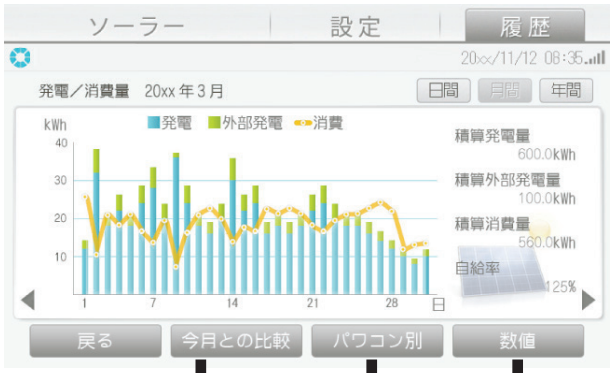
●電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、かつ、設置時に「余剰買取」の設定をしている場合、売電／買電 は選択できません。
●電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、かつ、設置時に「余剰買取」の設定をしている場合、電気料金換算 は選択できません。

発電量／消費量の履歴を見る



過去に発電した電力量と消費した電力量を確認できます。今日の実績ボタンを押した場合も発電量 / 消費量履歴が表示されます。

◆グラフ表示：発電量を棒グラフで、消費量を折れ線グラフで表示します。



- 積算発電量：　期間の初めからの積算発電量です。
- 積算外部発電量：期間の初めからの外部発電機の発電量です。外部発電機をお使いの場合に値が表示されます。
- 積算消費量：　期間の初めからの積算消費量です。
- 自給率：　期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量×100 の値になります。

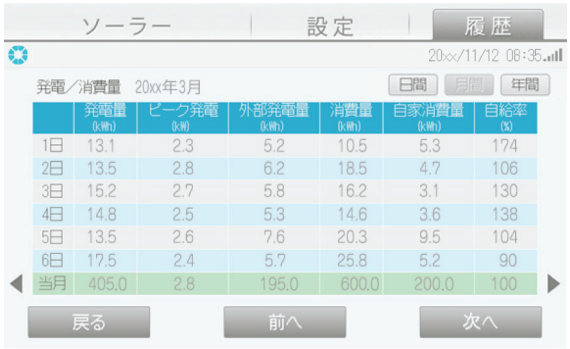
パワーコンディショナを複数台ご使用の場合に表示されます。
表示形式をパワーコンディショナ別の発電量の表示に切り替えます。

◆比較表示：選択している期間の発電量または消費量を棒グラフで、比較対象の同期間の発電量または消費量を折れ線グラフで表示します。



- 発電量：発電量の比較グラフに切り替えます。
- 消費量：消費量の比較グラフに切り替えます。

◆数値表示



	発電量 (kWh)	ピーク発電 (kW)	外部発電量 (kWh)	消費量 (kWh)	自家消費量 (kWh)	自給率 (%)
1日	13.1	2.3	5.2	10.5	5.3	174
2日	13.5	2.8	6.2	18.5	4.7	106
3日	15.2	2.7	5.8	16.2	3.1	130
4日	14.8	2.5	5.3	14.6	3.6	138
5日	13.5	2.6	7.6	20.3	9.5	104
6日	17.5	2.4	5.7	25.8	5.2	90
当月	405.0	2.8	195.0	600.0	200.0	100

- 発電量：　期間あたりの発電電力量です。
- ピーク発電：1 日の瞬間最大電力の値です。「月間」でのみ表示されます。
- 外部発電量：期間あたりの外部発電機の発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。
- 消費量：　期間あたりの消費電力量です。
- 自家消費量：発電量のうち、自家で消費した分の電力量です。発電量－売電量の値になります。
- 自給率：　期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量×100 の値になります。

メモ

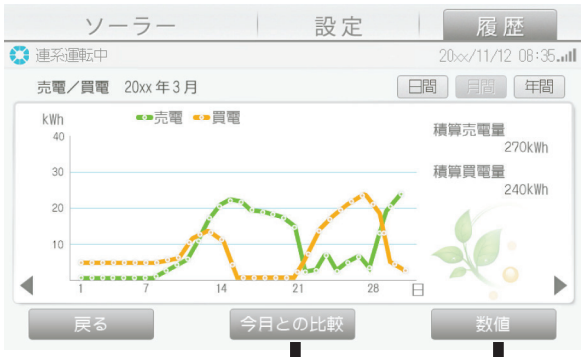
- 「日間の履歴」表示では、ある時間のデータは、その時間の 00 分から 59 分までの積算データとなります。例えば、9 時のデータは、9 時 00 分から 9 時 59 分までの積算データです。
- トップ画面で表示する消費電力は瞬時の電力（W）です。履歴画面で表示する消費量は電力量（Wh）です。
- 蓄電池システムを設置している場合の消費電力と消費量では計算式が異なるため、表示する値が異なることがあります。履歴の消費量は、充電量がある時にはその分増加し、放電量がある時にはその分減少した値となります。（☞ 65 ページ）
- 電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、もしくは設置時に「全量買取」の設定をしている場合、消費量グラフ、積算消費量、自給率は表示されません。
- 電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、もしくは設置時に「全量買取」の設定をしている場合、数値表示においては消費量、自家消費量、自給率、比較表示においては発電量ボタン、消費量ボタンは表示されません。

売電量（うりでん）／買電量（かいでん）の履歴を見る

売電 / 買電

売電量および買電量の履歴を確認できます。

◆グラフ表示：売電量および買電量を折れ線グラフで表示します。



- 積算売電量：期間の初めからの積算売電量です。
- 積算買電量：期間の初めからの積算買電量です。

◆比較表示：選択している期間の売電量または買電量を棒グラフで、比較対象の同期間の売電量または買電量を折れ線グラフで表示します。



- 売電量：売電量の比較グラフに切り替えます。
- 買電量：買電量の比較グラフに切り替えます。

◆数値表示



	売電量 (kWh)	買電量 (kWh)
1日	8.0	3.0
2日	10.0	6.0
3日	10.0	7.0
4日	6.0	3.0
5日	5.0	25.0
6日	3.0	16.0
当月	187.0	319.0

- 売電量：期間あたりの売電電力量です。
- 買電量：期間あたりの買電電力量です。

メモ

●電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、かつ、設置時に「余剰買取」の設定をしている場合、売電量、買電量は表示されません。

環境貢献度の履歴を見る



発電量から換算した CO_2（二酸化炭素）削減量の履歴を確認できます。さらに、それを樹木の本数や石油消費の削減量に置きかえた環境貢献度を確認できます。



- CO_2 削減量：　太陽光発電を石油火力発電と比較した場合の排出 CO_2 の削減量です。
- 成木にすると：CO_2 削減量の値が、樹木何本分の CO_2 の吸収量に相当するかを示したものです。
- 石油にすると：CO_2 削減量の値から、火力発電で使用する石油をどれだけ節約できたかを求めたものです。

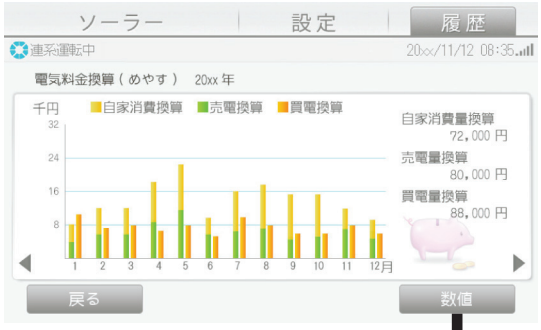
電気料金換算値を見る



電気料金に換算した自家消費量、売電量、買電量のめやすを確認できます。グラフ表示では 1 年ごとの表示、数値表示では 6 ヶ月ごとの表示になります。

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。確認するには、あらかじめ換算料金を設定しておく必要があります。（☞ 32 ページ）

◆グラフ表示：換算料金を棒グラフで表示します。



- 自家消費量換算：発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：　売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：　買電電力量を料金に換算した値です。

◆数値表示



- 自家消費量換算：発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：　売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：　買電電力量を料金に換算した値です
- 積算：　自家消費量換算値と売電量換算値の積算値を表示します。（設置時に「全量買取」の設定をしている場合、売電換算値の積算値のみ表示します。）この製品で発電を開始してからの総計になります。

メモ

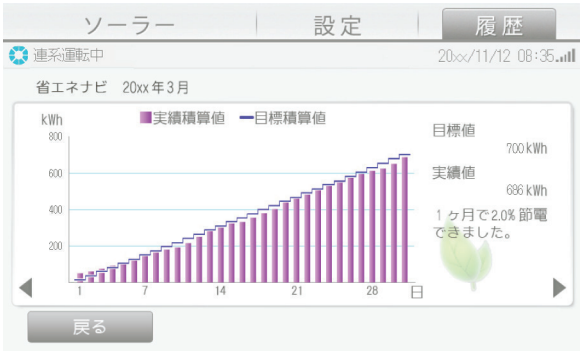
- CO_2 削減量、成木換算値、石油換算値の計算式は以下のとおりです。
  CO_2 削減量：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.4505kg-CO_2/kWh」※
  成木換算値：「CO_2 削減量（kg-CO_2）」/「14(kg-CO_2/ 本)」
  石油換算値：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.227（ℓ /kWh）」
  ※ CO_2 削減量の表示は目安であり、結晶太陽電池をもとにした換算係数で計算しています（2020 年 1 月時点）。
- 電気料金の計算は実際の電気料金の計量期間とは異なります。また、設定された電気料金換算値にもとづいて計算するため、計算した金額と実際の料金は異なります。
- 電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、もしくは設置時に「全量買取」の設定をしている場合、自家消費量換算は表示されません。

省エネナビの履歴を見る



設定した目標消費量に対して、どれだけ省エネを達成できているか確認できます。1ヶ月ごとの表示になります。初期設定では、目標消費量は設定されていません。省エネ目標設定で目標消費量を設定してください。（☞ 34 ページ）

◆グラフ表示：目標値を折れ線グラフで、実績値を棒グラフで表示します。



- 目標値：設定した目標消費電力量（☞ 34 ページ）です。
- 実績値：その月で実際に使用した電力量です。

蓄電池残量の履歴を見る

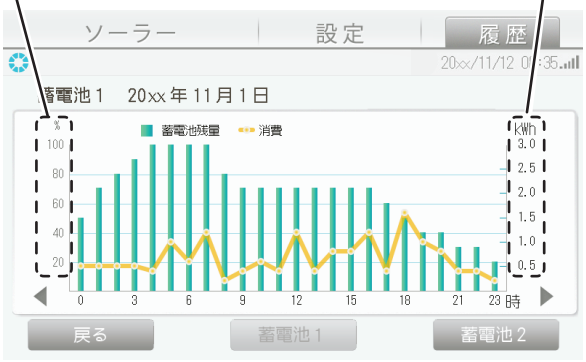


蓄電池残量の履歴が確認できます。蓄電池残量の値は目安です。

◆グラフ表示：日間の蓄電池残量、消費量を表示します。
蓄電池残量を棒グラフで表示し、消費量を折れ線グラフで表示します。

蓄電池残量%（棒グラフ）
蓄電池残量は 10% 刻みで表示します。
過去 35 日分まで表示できます。

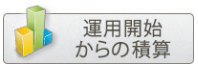
消費量 kWh（折れ線グラフ）



メモ

- 電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、もしくは設置時に「全量買取」の設定をしている場合、省エネナビは表示されません。
- 画面に表示される蓄電池は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナの台数です。1台の蓄電池連携型パワーコンディショナに2台の蓄電池が接続されている場合は、蓄電池は1台として表示します。
- 蓄電池を設置していない場合、蓄電池残量の履歴は表示されません。
- 蓄電池システムを設置している場合の消費電力と消費量では計算式が異なるため、表示する値が異なることがあります。（☞ 65 ページ）

運用開始からの履歴を見る



本製品で運用を開始してからの積算発電量や積算消費量、積算売電量／買電量などを確認できます。



- 発電量：運用開始からの積算発電電力量です。
- 消費量：運用開始からの積算消費電力量です。
- 売電量：運用開始からの積算売電電力量です。
- 買電量：運用開始からの積算買電電力量です。
- 自給率：運用開始からの電力自給率です。
  （発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。
- 外部発電量：
  運用開始からの外部発電機の積算発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。

メモ

●運用開始からの積算量（発電量）と運用開始記念日の積算発電量は異なる場合があります。
●電力センサー／主幹用電流センサーを取り付けていない場合、かつ、設置時に「余剰買取」の設定をしている場合、売電量、買電量は表示されません

日時の設定を修正する

マルチエネルギーモニタにはあらかじめ日付が設定されていますが、実際の日時と異なるときは、修正してください。

ご注意

◆日時の修正時に、誤った日時を設定すると、履歴データが消えてしまうことがあります。消えた履歴データは元に戻せませんのでご注意ください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 日付・時刻 をタップする

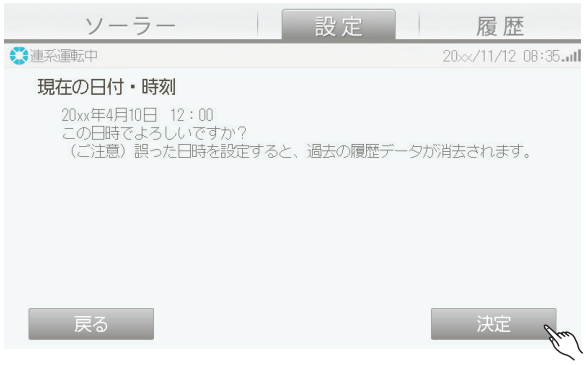
日付・時刻の設定画面が表示されます。



2 日時を修正して、決定 をタップする

「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。同様に、「月」「日」「時」「分」を入力し、設定が完了したら、決定 をタップします。

- 戻る：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。



3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

日時を修正して、設定のトップ画面に戻ります。修正した日時が画面右上に表示されます。

- 戻る：設定内容を反映せずに日付・時刻設定画面に戻ります。

メモ

- インターネットを利用して出力制御をおこなう場合は、定期的にマルチエネルギーモニタの日時が修正されます。日時が修正されていない場合はインターネットの通信ができていない可能性があります。通信環境を見直してください。
- 出力制御をおこなう場合は、時刻を 1 日につき 10 分以上変更したり、日付をまたいで変更することはできません。

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する

ディスプレイ表示は、見やすい明るさに設定できます。
また、ディスプレイには、一定時間マルチエネルギーモニタを操作しないと、省エネのため自動的に表示を消す機能があります。表示を消すまでの時間は、使いやすい長さに設定できます。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 明るさ 点灯時間 をタップする

明るさと点灯時間の設定画面が表示されます。



2 画面の明るさと点灯時間を選択して、決定 をタップする

画面の明るさは５段階に設定できます。初期設定では明るさ 4 に設定されています。
＋ をタップすると、明るくなり、
− をタップすると、暗くなります。
スライダーを指で操作することもできます。

点灯時間は初期設定では「1 分」に設定されています。

点灯時間を 3 分以上に設定した場合、1 分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、画面の明るさが半減します。

- 戻る：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

メモ

●待ち受け画像（☞ 30 ページ）を表示させるときは、点灯時間を 10 分以上に設定してください。

運用開始日を変更する

最初に通電された日付が自動で設定されています。運用開始日を変更したいときは、以下の操作をしてください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 運用開始日 をタップする

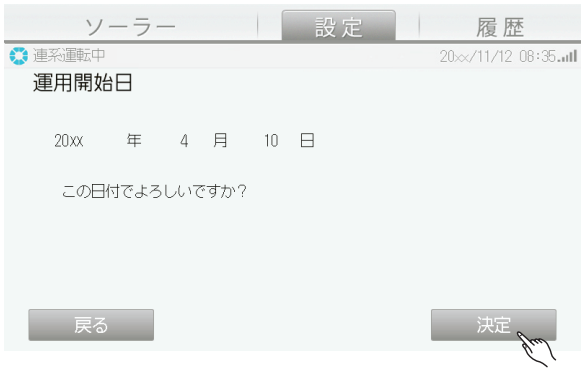
運用開始日の設定画面が表示されます。



2 運用開始日を入力し、決定 をタップする

「年」の入力枠をタップし、テンキーで年を入力します。
同様に「月」「日」を入力し、設定が完了したら、決定 をタップします。

- 戻る：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。



3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

運用開始日が設定され、設定画面に戻ります。

- 戻る：設定内容を反映せずに運用開始日入力画面に戻ります。

画面設定をする

待ち受け画面、ソーラートップ画面の発電電力の表示形式を設定します。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 画面設定 をタップする

画面設定のメニュー画面が表示されます。

※以下の条件では、待ち受け画面設定に直接移行します。

- 太陽電池を接続したパワーコンディショナ 1 台のみ接続、かつ、外部発電機を接続していない場合
- 太陽電池を接続したパワーコンディショナがない場合



2 設定する項目をタップする

（1）待ち受け画面設定

（2）表示設定

（1）待ち受け画面設定

待ち受け画像を表示させるときは、ディスプレイの点灯時間（☞ 28 ページ）を 10 分以上に設定してください。約 5 分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、ディスプレイに待ち受け画像が表示されます。表示初期設定では、待ち受け画像を表示しない設定になっています。



1 画像を選択して、 決定 をタップする

「表示しない」を選んだときは、待ち受け画像を表示しない設定になります。
画像を複数枚選択することで、待ち受け画像を自動切替表示することができます。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、前の画面に戻ります。



2 決定 をタップする

複数枚画像を設定した場合、30 秒ごとに順次画像を表示します。未設定の場合、待ち受け画面は表示されません。

- 戻る ：待ち受け画面設定に戻ります。

(2) 表示設定

太陽電池を接続したパワーコンディショナを複数台お使いの場合は、トップ画面の発電電力値を各パワーコンディショナごとの発電電力値を表示する／しないを選択することができます。
なお、パワーコンディショナを 1 台のみお使いの場合は、「個別表示」は表示されません。

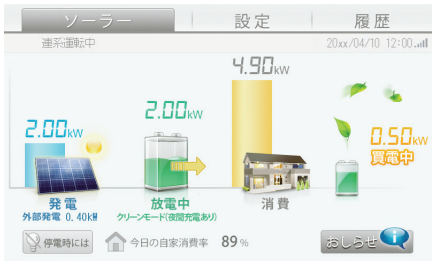


1 表示設定を選び、タップする

・初期設定では「トータル表示（外部発電含まず）」に設定されています。

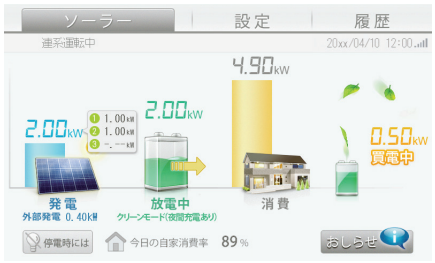
・戻る：画面設定画面に戻ります。

トータル表示（外部発電含まず）



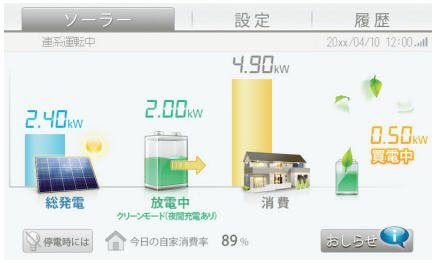
発電電力値を各パワーコンディショナの合計のみ表示

個別表示



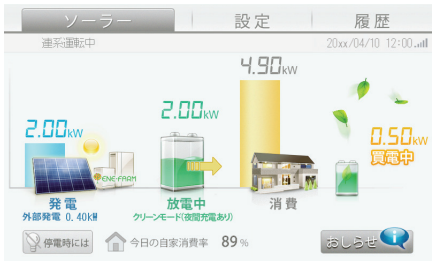
発電電力値をパワーコンディショナごとに表示

トータル表示（外部発電含む）



発電電力値を各パワーコンディショナと外部発電機の合計で表示

※エネファーム、エコウィルが接続されている場合は、ロゴマークが表示されます。
例） エネファームが接続されている場合のトータル表示（外部発電含まず）



メモ

● 外部発電機が接続されていないときは、「トータル表示（外部発電含む）」「トータル表示（外部発電含まず）」は表示されず、「トータル表示」と表示されます。

● エネファーム、エコウィルの発電量は、エネファーム、エコウィルに表示される発電量と異なる場合があります。

料金換算を設定する

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。電力量を電気料金換算値で見る（☞ 24 ページ）には、あらかじめ以下の操作で換算料金を設定しておく必要があります。
設定を変更すると、当月 1 日から現在までの電気料金換算データを再計算します。当月中であれば何度でも再計算されますが、前月以前の電気料金換算データは再計算されませんのでご注意ください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 料金換算 をタップする

料金換算の設定画面が表示されます。



2 [簡易設定] をタップする

- 戻る：設定のトップ画面に戻ります。



3 換算値を入力して、 決定 をタップする

買電料金および売電料金を設定できます。
買電料金は最大 4 つの時間に分けて設定することができます。
変更したい値の入力枠をタップすると設定画面に移行するので、値を入力し、 決定 をタップします。

※時間区分を減らす（たとえば、4 区分から 3 区分に減らす）場合は、 初期化 にタップして、入力数値を全て消してから入力しなおしてください。
※時間区分は 24 時間表示で入力してください。

- 戻る：料金換算設定画面に戻ります。

メモ

- 従量電灯などの従量制の料金プランには対応していません。
- 換算値の設定をおこなわないと換算値は 0 のままになります。
- 時間区分に不足や基本料金、売電に入力もれがあると 決定 にタップできません。

現在の設定を見る

現在の設定を確認することができます。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 現在の設定 をタップする

現在の設定画面が表示されます。



2 設定を確認する

次へ をタップすると、次の画面に進み、料金換算の設定、ネットワークの設定、蓄電池の設定、機器構成情報を確認することができます。
最初の画面で 戻る をタップすると、設定のトップ画面へ戻ります。
太陽光発電システム、蓄電池システムの接続状況によって、表示画面数、表示内容は異なります。

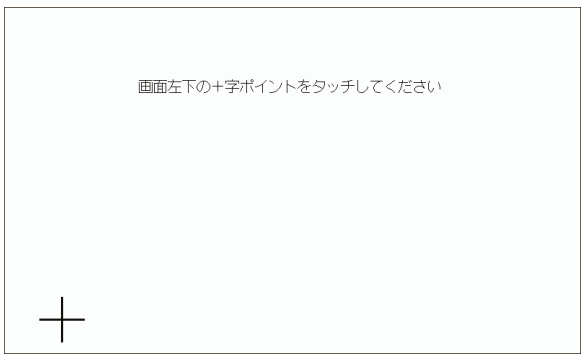
タッチパネルの設定をする

タッチパネルが正確に動作しない場合に、タッチパネルの位置補正をおこないます。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で タッチパネル設定 をタップする

タッチパネル設定の画面が表示されます。



2 画面の指示に従って、十字ポイントをタップする

十字ポイントを最後の「中央」までタップすると、設定のトップ画面に戻ります。
タッチパネルの位置補正をおこなうので、正確に十字の中心をタップしてください。

省エネ目標を設定する

省エネナビを利用するときの省エネ目標の設定をおこないます。
1ヶ月の目標消費量を設定します。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 省エネ目標 をタップする

省エネ目標設定画面が表示されます。



2 省エネ目標の設定方法を選択して、ボタンをタップする

[前月の消費量] または [前年同月の消費量] をタップすることで過去の消費量を目標消費量に設定できます。
または、[数値設定] を選択して、希望の目標値を設定できます。

※該当する過去の消費量データがない場合は [前月の消費量][前年同月の消費量] は選択できません。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。



3 [数値設定] をタップした場合は、省エネの目標値を入力して 決定 をタップする

入力枠をタップし、テンキーで目標値を入力し、決定 をタップする。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、省エネ目標設定画面に戻ります。

ECHONET Lite の設定をする

蓄電池システムに対して、ECHONET Lite 対応機器からの制御を受け付けるように設定をします。
なお、設定内容に関係なく、ECHONET Lite 対応機器で、ソーラー、蓄電池の情報は表示できます。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、ECHONET Lite 設定 をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。



2 ECHONET Lite 対応機器からの制御を有効にするか、しないかを選択して 決定 をタップする

初期設定では、[設定しない] に設定されています。
蓄電池の ECHONET Lite 設定を [設定する] から [設定しない] に変更すると、蓄電池運転モードは最後に設定したモード（未設定の場合は初期設定である「経済性モード（自動）」）に移行します（☞ 36 ページ）。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

※ ECHONET Lite 設定を有効にすると、当社製 HEMS 機器などの ECHONET Lite 対応機器から制御されることにより、マルチエネルギーモニタでおこなった設定やシステムの動作が変更される場合があります。
詳しい制御内容等は、ECHONET Lite 対応機器の取扱説明書を参照してください。

ただし、ECHONET Lite 対応機器からの制御指示に対し、状況によっては、指示通りに動かない場合があります。
例）本システムの動作として矛盾する指示や、本システムが対応していない機能など

メモ

● ECHONET Lite 対応機器で、情報の表示や制御をおこなうためには、あらかじめネットワークの設定（☞ 44 ～ 48 ページ）をする必要があります。

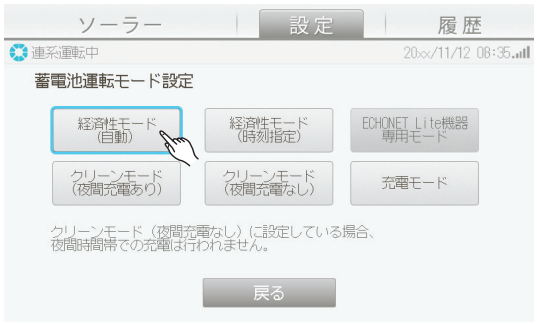
蓄電池運転モードを設定する

蓄電池運転モードを設定します。
※当社製 V2H システムを設置の場合は、一部の運転モードが変更となります。
V2H システムの取扱説明書をご確認ください。
※当社製 HEMS 機器と連携する場合は、HEMS からの制御に利用するため、手順３の蓄電池の放電開始時刻まで設定してください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、蓄電池 運転モード設定 をタップする

・◀：設定画面 1/2 に戻ります。



2 蓄電池運転モードを選択する

選択すると、外枠が青色に変わり、蓄電池モードが設定され、設定画面 2/2 に戻ります。
蓄電池運転モード（☞ 17 ページ）には下記の６つのモードがあります。

●経済性モード（自動）
●経済性モード（時刻指定）
●ECHONET Lite 機器専用モード
●充電モード
●クリーンモード（夜間充電あり）
●クリーンモード（夜間充電なし）

・戻る：設定画面 2/2 に戻ります。

※ 初期設定では、「経済性モード（自動）」に設定されています。
※ ECHONET Lite 機器専用モードは当社製 HEMS 機器などの ECHONET Lite 対応機器から制御されていることを表す運転モードです。お客様自身でこのモードに変更することはできません。



3 経済性モード（時刻指定） をタップした場合は、蓄電池の放電開始時刻を設定する

「時」、「分」の入力枠にそれぞれタップし、24 時間表示で時刻をテンキーで入力し、決定 をタップします。
夜間時間帯内の時刻は設定できません。
夜間時間帯が 23 時～ 7 時の場合、放電開始時刻には 7 時 01 分～ 22 時 59 分が設定可能です。

・戻る：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

メモ

●蓄電池運転モードを切り替えると、一時的に発電電力が 0kW になり、蓄電池が待機中になります。
●蓄電池運転モードを充電モードに設定しているときに、マルチエネルギーモニタが再起動すると、充電モードに設定する前のモードに戻ります。
● HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池運転モード、キープ残量設定値が変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます（☞ 14 ページ）。

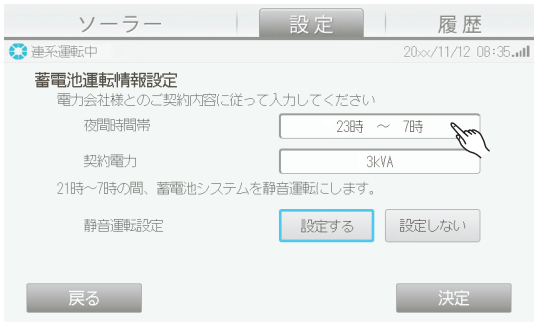
蓄電池運転情報を設定する

電力会社とのご契約に従って、夜間時間帯と契約電力を入力します。
当社製 V2H システムを設置の場合は、項目名が「契約電力 / 夜間時間帯設定」に変わります。
V2H システムの取扱説明書をご確認ください。



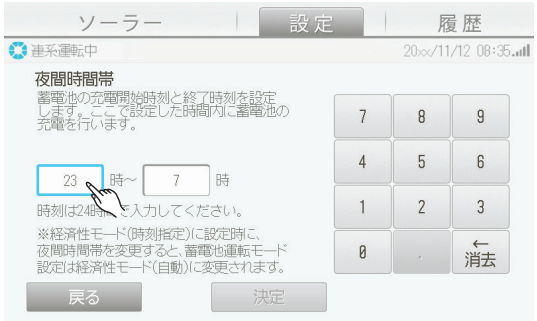
1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、蓄電池 運転情報設定 をタップする

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。



2 「夜間時間帯」の入力枠をタップする

夜間時間帯の入力画面に移行します。



3 電力会社とのご契約内容に従って、夜間時間帯を 24 時間表示で入力する

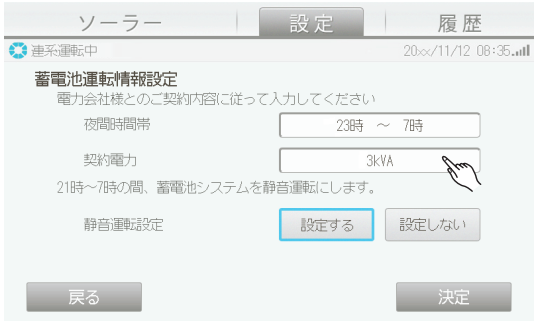
開始時刻枠をタップし、開始時刻を入力します。
終了時刻枠をタップし、終了時刻を入力します。
開始および終了時刻が入力できれば、決定 をタップし、前画面に戻ります。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

蓄電池の夜間時間帯を短く設定すると、蓄電池の充電が十分におこなわれない場合があります。蓄電池の充電を十分おこなうためには、夜間時間帯の充電開始時刻を、電力会社とのご契約内容に合わせてください。

ご注意

蓄電池運転モードを経済性モード（時刻指定）に設定後に、夜間時間帯を変更すると、蓄電池運転モードは経済性モード（自動）に変わり、経済性モード（時刻指定）の放電開始時刻は消去されますのでご注意ください。



4 「契約電力」の入力内容を確認する

設置工事業者により設定済みです。

内容を確認したら 戻る をタップすると設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

変更が必要な場合は、入力枠をタップし、手順５の契約電力設定画面にすすみます。

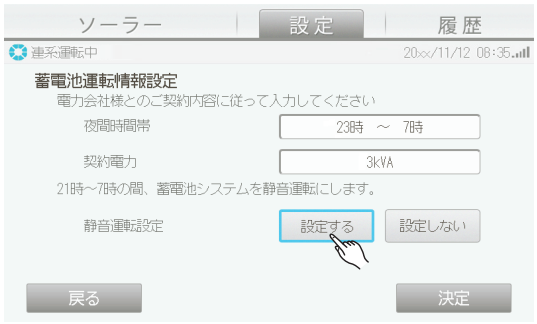


5 契約電力枠の入力内容を確認する

入力範囲は 1 ～ 50kVA です。
A（アンペア）契約のお客様は kVA に換算して入力してください。（例 10A → 1kVA）
蓄電池・夜間蓄熱器等を設置されている場合に、契約内容と異なる値を設定する場合があります。設定内容にご不明な点がありましたら、販売店にお問い合わせください。

- 決定 ：設定内容を反映して前画面に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

※誤った値を入力すると、充電されにくくなったり、ブレーカーが落ちるおそれがあります。



6 21 時～ 7 時までは蓄電池システムを静音運転にするか、しないかを設定する

静音運転ではパワーコンディショナのファンの回転数を抑えた運転をおこないます。静音運転にすると、充電が十分にできない場合があります。
初期設定では「設定する」に設定されています。

- 決定 ：設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

※一部のパワーコンディショナでは静音運転設定は表示されません。

蓄電池キープ残量を設定する

非常時に備えて蓄電池残量を残しておくために、放電の下限値を設定します。
ただし、停電等で自立運転になった場合、または蓄電池実容量診断中は、蓄電池キープ残量の設定によらず、0%まで放電をおこないます。（☞ 40 ページ）



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、[蓄電池 キープ残量設定]をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻る



2 蓄電池に残しておく下限値を設定する

設定範囲は 0 ～ 100% です。初期設定では 20% に設定されています。100%に設定すると、放電はしません。

- ▲：10% 刻みで増加します
- ▼：10% 刻みで減少します
- 決定：設定内容を反映し、設定画面 2/2 に戻る
- 戻る：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻る

メモ

- 蓄電池キープ残量を設定していても、蓄電池保護のため、設定した蓄電池キープ残量より前に放電を停止する場合があります。
- 画面に表示される蓄電池は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナの台数です。1 台の蓄電池連携型パワーコンディショナに 2 台の蓄電池が接続されている場合は、蓄電池は 1 台として表示します。
- 蓄電池キープ残量の設定は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナごとに設定できます。
- HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池運転モード、キープ残量設定値が変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます（☞ 14 ページ）。
- キープ残量で放電を停止したあと、蓄電池残量が低下することがあります（待機時間が長い場合や、低温時に蓄電池残量の自動補正がされた場合など）。停電に備えたい場合は、キープ残量を上げることをご検討ください。

蓄電池の実容量を診断する

蓄電池を長年ご使用のお客様へ

蓄電池の容量が減っている可能性がないか確認できます。診断結果は目安です。

ご注意

◆診断をおこなうと、蓄電池運転モード（☞ 36 ページ）の設定内容によらず、すべて放電したのち、満充電します。そのため、電力会社の契約で昼間の割高な電力から充電することもあります。また、蓄電池キープ残量設定によらず、0%まで放電をおこないます。

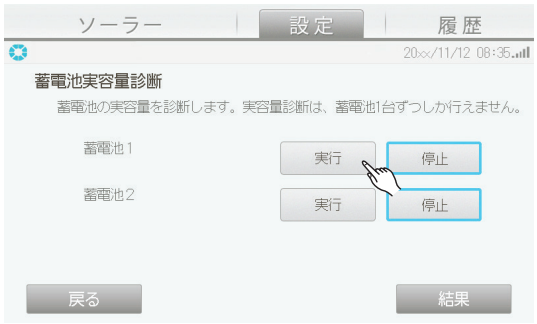
◆診断中の蓄電池が接続されているパワーコンディショナを停止しないでください。診断が中止します。

◆ご家庭の電気使用量が少ない（多い）場合に、放電（充電）がそれぞれ 48 時間以上おこなわれると、診断を中止します。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、[蓄電池 実容量診断] をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。



2 診断したい蓄電池を選び、[実行] をタップする

診断中の蓄電池には、「診断中」と表示されます。
診断をキャンセルする場合は、[停止] をタップしてください。
初期設定では、すべて [停止] に設定されています。
片方の蓄電池が「診断中」の場合は他の蓄電池は診断できません。

- [実行]：蓄電池の実容量診断をおこないます。
- [停止]：蓄電池の実容量診断を停止します。
- [結果]：診断結果を表示します。
- [戻る]：設定画面 2/2 に戻ります。



3 [結果] をタップして、診断結果を確認する

診断をおこなった日にちと、結果が表示されます。

◆診断結果

良好： 蓄電池の容量は正常範囲内です。

要点検： 蓄電池の容量が減っている可能性があります。修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。

診断中： 診断をおこなっている途中です。

診断失敗／診断中止： 診断を失敗／中止しました。もう一度おこなう場合は、前画面に戻り、実行してください。

- [戻る]：前画面に戻ります。

メモ

●画面に表示される蓄電池は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナの台数です。1 台の蓄電池連携型パワーコンディショナに 2 台の蓄電池が接続されている場合は、蓄電池は 1 台として表示します。

●蓄電池連携型パワーコンディショナに蓄電池を 2 台接続している場合は、2 台の蓄電池を同時に診断します。

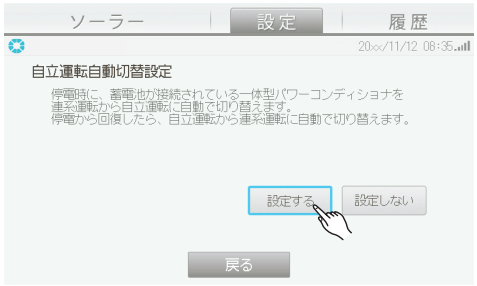
自立運転の自動切り替えを設定する

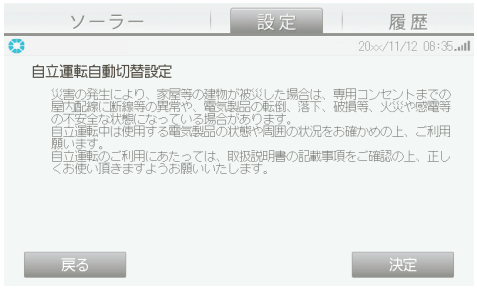
停電時に、連系運転と自立運転を自動で切り替える設定をおこないます。
蓄電池を設置している場合のみ設定できます。

ご注意

◆停電時に電力を供給するコンセント等には、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器は接続しないでください。
◆蓄電池残量がなくなったときなど電力供給が停止した場合は、安全のため機器の電源をお切りください。
蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給が停止します。その後、停電が復旧した場合や翌朝日の出とともに太陽光発電がはじまると、自動的に電力が供給されます。
◆自立運転の注意事項（☞ 53 ～ 55 ページ）をよくお読みになってご使用ください。







1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、［自立運転 自動切替設定］をタップする**

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **自動切り替え設定をおこなう場合は［設定する］、おこなわない場合は［設定しない］をタップする**

自立運転の自動切り替えをおこなっている間は、［設定しない］を選択できません。

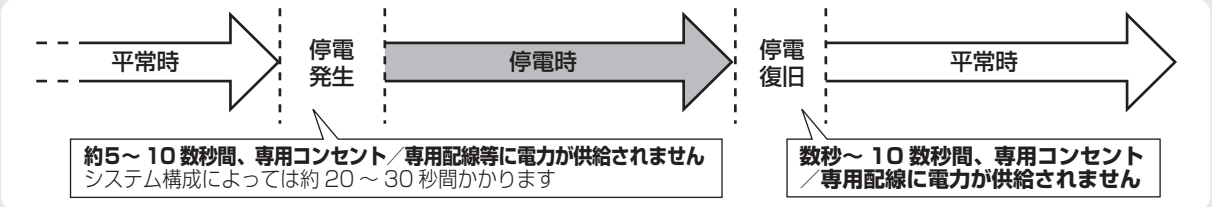
- ［戻る］：前画面に戻ります。

3 **［設定する］をタップした場合は、自立運転の注意事項（☞ 53 ～ 55 ページ）をよくお読みになって、［決定］をタップする**

- ［戻る］：設定を反映せずに、前画面に戻ります。

ご注意

◆ 自立運転自動切り替えを設定した場合でも、運転モードの自動切り替えにより、一時的に専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に電力が供給されない時間があります。



※停電時に電力を供給するコンセント等以外に接続された電気機器は、停電時はお使いいただけません。

メモ

- 自立運転の自動切り替えを設定した後に、蓄電池を追加・交換した場合は、再度、自動切り替え設定をおこなってください。
- 自立運転の自動切り替えを設定した場合、停電中以外に手動で自立運転に切り替えることはできません。

ネットワーク設定をする

ご利用前の確認

自動ソフトウェアバージョンアップのご利用や、HEMS 機器との連携には、通信回線の接続や、通信機器の準備が必要です。ご利用の前に、以下の機器や環境が整っているかをご確認ください。

ブロードバンド回線が必要です。

光回線、ケーブル TV ネットワークなど、常時接続のブロードバンド回線が必要です。
接続機器としてブロードバンドルーターが必要です。ケーブル TV ネットワークをご利用のときは、パソコン以外の機器による回線接続が認められていない場合があります。このような場合やご不明のときは、ケーブル TV のプロバイダーにお問い合わせください。

無線 LAN の場合：無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要です。

無線 LAN を利用するためには、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要になります。無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧いただき設置・設定をおこなってください。無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは、安定したワイヤレス接続のために、動作確認済み機種の無線 LAN 対応ブロードバンドルーターおよび無線 LAN 中継器のご使用をおすすめします。

ただし、すべての住宅環境で性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。

- コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
- 障害物の近くへの設置
- 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
- 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

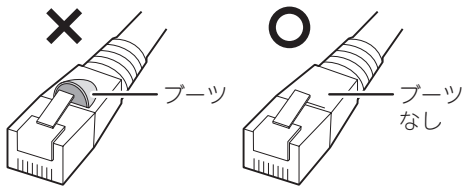
動作確認済み機種一覧は当社ホームページに記載しています。
（https://jp.sharp/sunvista/feature/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html）
※ルーターモード（RT）に設定してください。

●ネットワーク設定が必要です。
無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが WPS、WPS PIN 方式に対応しているときは、無線接続を自動設定できます（☞ 44 ～ 45 ページ）。
無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 44 ～ 48 ページ）。

有線 LAN の場合：ブロードバンドルーターと LAN ケーブルが必要です。

マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーターの接続用に、LAN ケーブルが必要です。LAN ケーブルは市販品をお買い求めください。また、以下の条件を満たす LAN ケーブルをお使いください。

- カテゴリー 5 以上のストレートケーブルであること
- 長さが 15m 以上のときは単線タイプを使用すること
- ブーツ（コネクタの保護カバー）がついていないこと



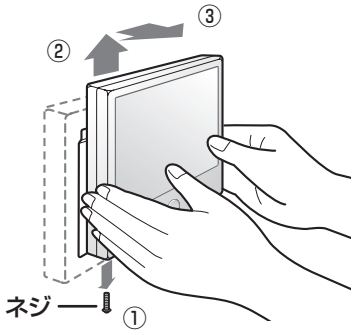
●ネットワーク設定が必要です。
ブロードバンドルーターが DHCP 設定のときは、自動設定で接続できます（☞ 44 ～ 48 ページ）。
ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 44 ～ 48 ページ）。

通信回線に接続する

ネットワークサービスのご利用や、HEMS 機器との連携の際には、マルチエネルギーモニタを通信回線に接続してください。有線で接続される場合は、マルチエネルギーモニタと通信回線を LAN ケーブルで接続してください。下図は一般的な接続例です。接続機器の種類や形状、接続する端子の名称、配線パターンなどは、お客様の環境と異なることがあります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

マルチエネルギーモニタにLANケーブルを接続するときは…

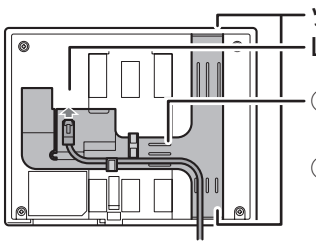
壁からマルチエネルギーモニタを取り外してから、LANケーブルを接続します。



① **固定ネジを外す**
固定ネジは、マルチエネルギーモニタの下部にあります。
固定ネジは、再度マルチエネルギーモニタを固定する際に必要となりますので、なくさないでください。

② **マルチエネルギーモニタを上にずらす**
取付金具から外れて、固定が解除されます。

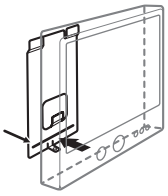
③ **マルチエネルギーモニタを手前にずらして、壁から外す**
通信ケーブルが接続されていますので、マルチエネルギーモニタを壁から外すときに強く引っ張らないでください。
手前にずらしたときに引っかかりがある場合、取付金具から完全に外れていません。もう少しマルチエネルギーモニタを上にずらして、完全に取付金具から外してから、作業をおこなってください。

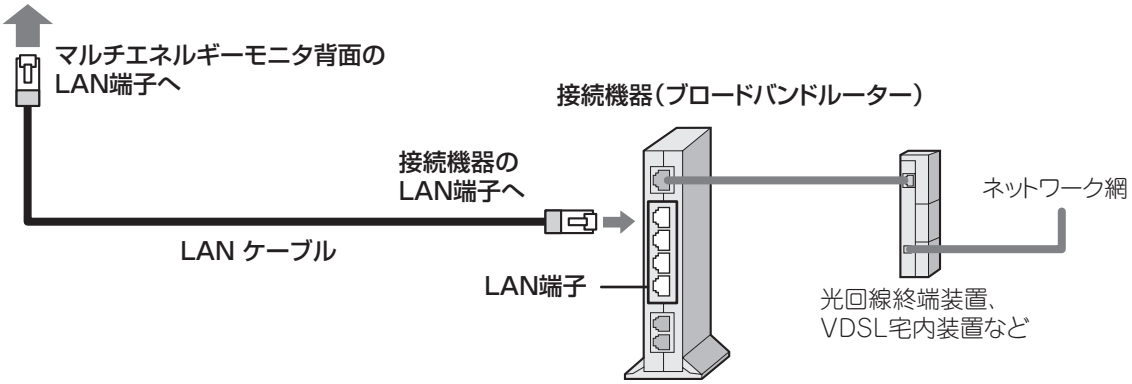


マルチエネルギーモニタの背面

④ **溝にケーブルを通し、LAN端子にケーブルを差し込む**
ツメがある場合は、ツメを折ってからケーブルを溝に通してください。

⑤ **マルチエネルギーモニタを壁に取り付け直す**
手順①から③の逆の手順で、壁に取り付けてください。
取付金具の下部にガイドがあります。ガイドにマルチエネルギーモニタの下面を合わせると取り付けの際に便利です。





自動ソフトウェアバージョンアップについて

マルチエネルギーモニタ、パワーコンディショナ一部機種、蓄電池用コンバーター部機種、および EV 用コンバータは、通信回線に接続しネットワーク設定をすることで、自動で最新のソフトウェアへバージョンアップをおこないます。最新のバージョンアップ情報については、当社サポートページ（https://jp.sharp/support/taiyo/software.html）を参照ください。

※マルチエネルギーモニタは、ソフトウェアバージョンアップの際に再起動します。その間、画面は消灯します。約 1 分かかります。

※パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV 用コンバータのソフトウェアバージョンアップ中は、モニタ画面およびボタン操作ができなくなります。また蓄電池の充放電が停止します。その間、モニタ画面には「ソフトウェア更新中」と表示されます。終了するとモニタが再起動し通常動作にもどります。15 分から 1 時間程度かかります。

※通信機器や回線状況によっては、通信が安定せず、自動ソフトウェアバージョンアップができない場合があります。

※最新のソフトウェアは順次配信されますので、最新のソフトウェアにバージョンアップするまでに日にちを要する場合があります。また、エラーが表示されている場合、停電などで自立運転をおこなっている場合は、自動ソフトウェアバージョンアップは実施されません。

※ソフトウェアバージョンアップ中に停電が発生した場合、ソフトウェアバージョンアップは中止します。また安全のため、マルチエネルギーモニタ、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV 用コンバータの運転が停止する場合がありますが、停電が回復後、しばらくすると運転を再開します。

通信に必要な設定をする

マルチエネルギーモニタを通信回線に接続したら、以下の操作で通信に必要な設定をしてください。
※お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書も参照し設定をおこなってください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする

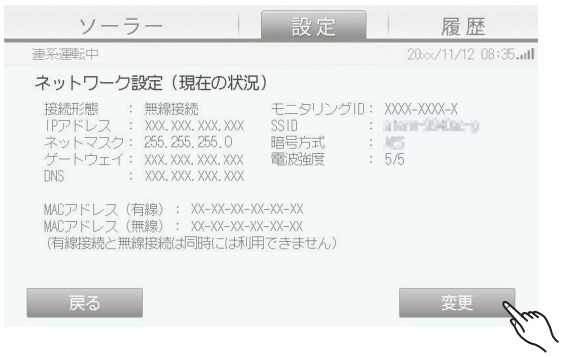
ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。



2 現在の設定状況 をタップする

設定状態によって選択できる項目数が変わります。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。



3 変更 をタップする

ネットワーク設定の現在の状況が表示されます。設定状態により表示される項目数は変わります。
電波強度は 5 段階で 5/5 のように表示し、有線接続の場合は非表示となります。
[変更] をタップすると接続形態の選択画面になります。

- 戻る :ネットワーク設定の画面に戻ります。

メモ

- 設置場所や電波干渉の影響により、通信が途切れることがあります。電波強度が 2 以下の場合は、特に通信が途切れやすくなります。
  電波干渉を起こしやすい機器の例： 電子レンジ、コードレス電話機、アマチュア無線、パソコン、スマートフォンなど
- WEB モニタリングサービスに未加入の方は、モニタリング ID が表示されません。モニタリング ID を確認する場合は、「現在の設定」ボタンをタップしてください。



① WPS 方式で接続する場合

マルチエネルギーモニタの WPS (推奨) をタップしてから、60 秒以内にお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの WPS ボタンをランプが点滅するまで押し続けます、ランプが点滅したらボタンから手をはなします。
通信を開始し、「設定されました」と表示されれば、設定完了です。
確認 をタップしてください。



②その他の設定方法

1 その他 **をタップする**

WPS PINコード設定がある場合、SSIDの検索が可能な場合、SSIDを手動で入力する場合は その他 **をタップする。**

- 戻る：無線接続の画面に戻ります。



2 その他 **をタップした場合、無線接続方法の選択画面が表示される**

SSID の検索が可能な場合は、 SSID検索 **をタップする。**
→手順 3 へ進みます。

SSID を手動で入力する場合は、 SSID入力 **をタップする。**
→手順 4 へ進みます。

WPS PIN コード設定がある場合は、 WPS PIN方式 **をタップする。**
→手順 5 へ進みます。

- 戻る：無線接続の画面に戻ります。

メモ

- 接続形態を有線⇒無線、または無線⇒有線に変更する場合、確認画面「無線（有線）接続に変更すると設定が完了するまでは通信ができなくなります。よろしいですか？」が表示されるので[実行]をタップしてください。
- 「通信に失敗しました」というメッセージが表示される場合、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターとの接続に失敗しています。お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが WPS に対応しているかを確認し、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの電源を入れなおして[再試行]をタップしてください。
- WPS 方式で接続する場合、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの WPS ボタンをランプが点滅するまで押し、その後にマルチエネルギーモニタの「WPS（推奨）」をタップする手順でも接続できます。
- 何度も無線 LAN 対応ブロードバンドルーターとの接続に失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。



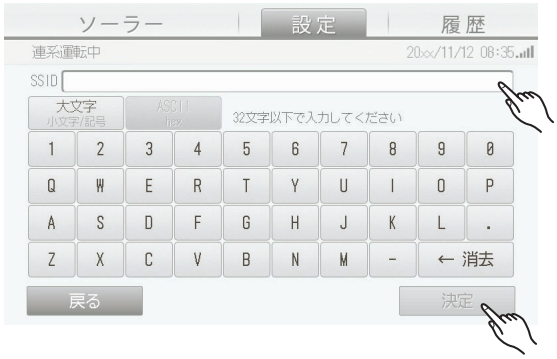
3 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を選択する

→手順 6 へ進みます。

：前の 5 件が表示されます。

：次の 5 件が表示されます。

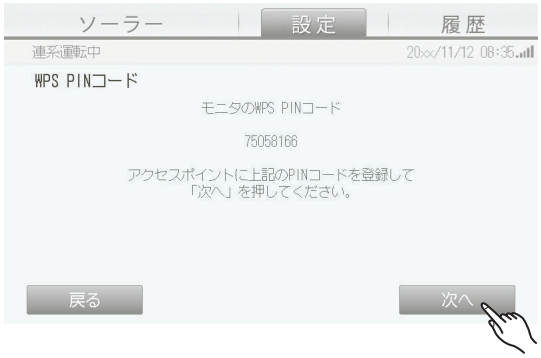
- 戻る ：無線接続の画面に戻ります。



4 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を入力し、決定 をタップする

入力枠をタップし、キーボードで SSID を入力します。
→手順 6 へ進みます。

- 戻る ：無線接続の画面に戻ります。



5 WPS PIN コードをお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターに設定する

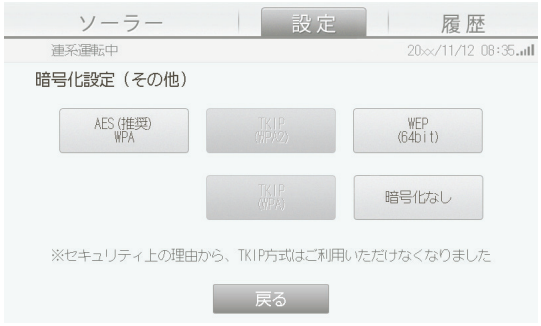
次へ をタップします。通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。
確認 をタップしてください。



6 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式を選ぶ

[AES] または [WEP] をタップする
→手順 8 へ進みます。
暗号化方式は AES の設定を推奨します。
機器の都合上その他の形式での設定が必要な場合は その他 をタップしてください。
→手順 7 へ進みます。

- 戻る ：前画面に戻ります。



7 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式（その他）を選ぶ

［AES（推奨）WPA］［WEP（64bit）］のいずれかをタップする
→手順 8 へ進みます。
［暗号化なし］をタップする
→手順 9 へ進みます。

- 戻る：暗号化設定に戻ります。



8 暗号を入力して 決定 をタップする

入力枠をタップし、キーボードで値を入力します。
［大文字］のキーをタップすると、［大文字］、［小文字］、［記号］に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
［ASCII］のキーにタップすると、［ASCII］、［hex］に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
ASCII では数字、英字（大文字 / 小文字）、記号が入力でき、hex では 16 進数が入力できます。

- 戻る：暗号化設定に戻ります。



9 アドレスの設定方法を選ぶ

［手動（アドレス設定）］をタップする
→手順 10 へ進みます。
［自動（DHCP）］をタップする
→通信を開始し、しばらくして「設定されました」が表示されると設定が完了します。［確認］をタップすると、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

- 戻る：前画面に戻ります。

メモ

- 「通信に失敗しました」というメッセージが表示されたら、お手持ちのルーターの電源を入れなおして［再試行］をタップしてください。何度も失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。
- 暗号化方式の暗号強度は以下の順番になります。
  【強】［AES（WPA2）］>［AES（WPA）］>［WEP（128bit）］>［WEP（64bit）］>［暗号化なし］**【弱】**
- ルーター取扱説明書をご確認のうえ、できるだけ暗号強度の高い方式を選択することをおすすめします。



10 設定する項目を選ぶ

アドレス設定（手動）の設定項目は、IP アドレス→ネットマスク→ゲートウェイ → DNS の順に遷移にします。
一度設定項目を選択したら、DNS まで設定してください。

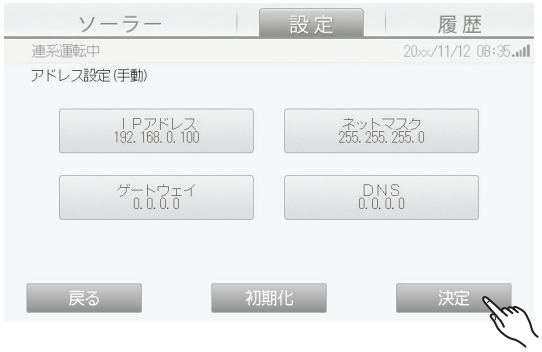
- 決定 ：設定内容を反映してアドレス設定に戻ります。
- 戻る ：アドレス設定に戻ります。



11 項目を入力して、決定 をタップする

左の画面は［IP アドレス ］を選んだ場合の画面です。
入力枠をタップし、テンキーで値を入力し、決定 をタップします。
ネットマスク、ゲートウェイ、DNS も同様の方法で入力します。

- 戻る ：前画面に戻ります。



12 すべて設定したら、アドレス設定（手動）画面で 決定 をタップする

ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。
初期化 をタップすると、初期設定に戻ります。
IP アドレス：192.168.0.100
ネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：0.0.0.0
DNS：0.0.0.0

※初期設定状態のままでは通信できません。

- 戻る ：アドレス設定に戻ります。

サーバー接続確認をおこなう

通信の設定が終わりましたら、以下の操作で自動ソフトウェアバージョンアップ用サーバー接続確認をおこなってください。
（Web モニタリングサービスをご利用の方は、「サーバー接続確認」の代わりに「通信テスト」をおこなってください。）



1 設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする

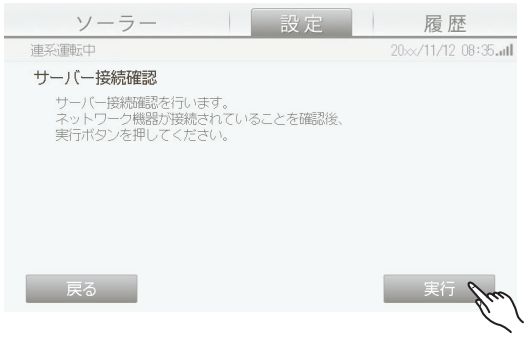
ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。



2 サーバー接続確認 をタップする

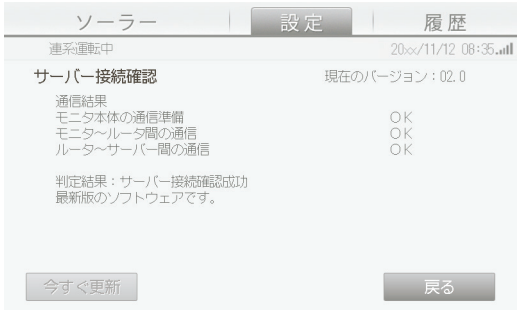
※ Web モニタリングサービスをご利用の方は、「サーバー接続確認」のかわりに「通信テスト」をタップしてください。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。



3 ネットワーク機器が接続されていることを確認後、 実行 をタップする

- 戻る ：ネットワーク設定の画面に戻ります。



4 確認結果が表示されますので、内容を確認してください

「判定結果：サーバー接続確認成功」と表示されたら、ネットワーク通信は正常におこなわれています。
「判定結果」が「NG」と表示されたときは、画面に表示される案内に従ってください。また、「通信回線に接続できないときは」（☞ 50 ページ）を確認してください。
サーバー接続確認の判定結果に、「ソフトウェアの更新があります」と表示された場合は、「今すぐ更新」をタップすることでマルチエネルギーモニタのソフトウェアをバージョンアップできます。

- 戻る ：前画面に戻ります。

メモ

- ネットワーク設定の画面の、「通信テスト」「会員登録確認」「最新データ送信」「モニタリング通信の停止」は、Web モニタリングサービス利用の際に使用いただくものです。（WEB モニタリングサービスの新規加入受付は終了し、COCORO ENERGY モニタリングサービス に移行しました。）
- Web モニタリングサービスは、通信テストの成功により登録されるサービスです。通信テストで、「通信テスト成功」の確認結果が表示されるまでは登録されません。
- ソフトウェアバージョンアップ中は画面が消灯します。バージョンアップ後はホームボタンまたは画面タッチで画面が点灯します。
- WEB モニタリングサービスに未加入の方は、モニタリング ID が表示されません。モニタリング ID を確認する場合は、「現在の設定」ボタンをタップしてください。

通信回線に接続できないときは

マルチエネルギーモニタを通信回線に接続できないときは、以下のチェック項目をご確認ください。チェック項目を確認の後、サーバー接続確認（☞ 49 ページ）をおこなってください。
接続確認の結果、「モニタ本体の通信準備」に「NG」が表示される場合は故障の可能性があります。修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。

- ☐ 通信回線の接続設定をおこなっている（☞42～48ページ）
- ☐ 接続機器（以下ブロードバンドルーターと記載します）の電源が入っている
- ☐ ブロードバンドルーターのファームウェアのバージョンは最新になっている
  ※ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。
- ☐ マルチエネルギーモニタと同じブロードバンドルーターに接続されている機器からインターネットにアクセスできる
  ※ネットワークサービスの障害発生情報については、ご契約のインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

＜有線接続の場合＞

- ☐ マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーターを接続している LAN ケーブルを、カチッと音がするまでしっかりと差し込んでいる
  ※ブロードバンドルーターに接続するLANケーブルは"LAN"の差込口に差し込んでください。

＜無線接続の場合＞

- ☐ 無線 LAN の電波強度アイコンで、アンテナは十分に立っている（☞15ページ）
  ブロードバンドルーターをマルチエネルギーモニタに近付けるか、無線 LAN 中継器など（☞42ページ）を利用してください。
  ※電波強度が2以下の場合は、特に通信が途切れやすくなります。
- ☐ ブロードバンドルーターをルーターモード（RT）に設定してください。
- ☐ ブロードバンドルーターにプロバイダー情報を設定している
  ※プロバイダーによってはインターネットに接続する際、プロバイダー情報の設定が必要な場合があります。ブロードバンドルーターの取扱説明書に従って設定してください。

回線がつながらない場合、回線業者が設置した機器もしくはブロードバンドルーターの再起動をお試しください。

通信回線に接続できないとき（確認結果が NG）の対応方法については、動画でも手順を確認できます。

https://jp.sharp/support/taiyo/visualguide.html

運転を停止 / 開始する

手動で運転の停止／開始ができます。点検などで一時的に運転を停止したいときは、以下の操作をしてください。
また、自立運転（☞ 52 ～ 56 ページ）を開始／停止するときも、以下の操作をしてください。



1 右側面の 運転切替ボタン を押す

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 13 ページ）。

※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 41 ページ）。切り替えが終了するまで、しばらくお待ちください。



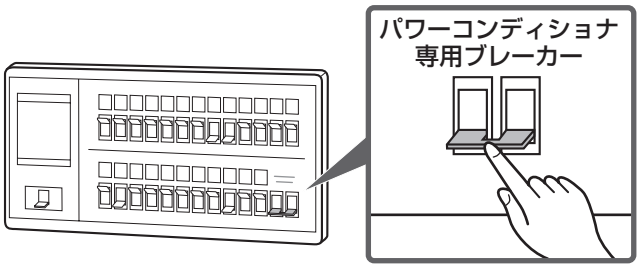
2 運転を停止するときは 停止 、運転を開始するときは 運転 をタップする

停止や開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

全パワーコンディショナのボタンは、太陽電池パワーコンディショナのみ接続している場合に表示されます。

● 万一、パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータから煙、異音、異臭などが発生したときは、手順 1 ～ 2 に続いて下記手順 3 ～ 4 の操作をおこなって、パワーコンディショナを緊急停止してください。

3 ご家庭の分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを OFF にする



4 お買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）に連絡する

お客様による再起動はおこなわないでください。

パワーコンディショナを再起動する

エラーなどでパワーコンディショナの再起動が必要なときは、以下の操作で再起動してください。
ただし、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中のみ可能です。



1 右側面の 運転切替ボタン を押す

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 13 ページ）。

※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 41 ページ）。切り替えが終了するまで、しばらくお待ちください。



2 解除 をタップする

「点検」と表示されているパワーコンディショナの 解除 をタップしてください。

パワーコンディショナが「手動停止中」になるので、 運転 をタップしてください。
パワーコンディショナが再起動します。

停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給がなくなると、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します（太陽光発電システムのみ設置している場合は、夜間を除く）。
停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。



停電が発生したことをディスプレイに表示します。

停電中は運転状態表示ランプが緑色点滅または消灯します。

■停電時に太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます（自立運転）（☞ 53 ～ 56 ページ）

停電中に自立運転に切り替えると、太陽光発電で発電した電力や蓄電池の電力を使用することができます。
自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 41 ページ）。

マルチエネルギーモニタ画面の 停電時には をタップすると停電時の操作方法が表示されます。

※パワーコンディショナを自立運転に切り替えると、自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に電力が供給されます。

ご注意

◆自立運転の注意事項（☞ 53 ～ 55 ページ）をよくお読みになってご使用ください。

停電時に電気を使うには（自立運転）

太陽光発電システム、蓄電池システムを両方お使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気や蓄電池に貯めた電気を専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 56 ページ）。**
  自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（☞ 41 ページ）。
- **太陽電池モジュールが発電していないときは蓄電池より電力を供給します。**
  夜間など発電できないときも蓄電池残量があれば、自立運転できます。
- **停電時に電力を供給するコンセント等を使用してください。**
  自立運転では、専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）のみに電力が供給されます
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **最大でパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器が使用できます。**
  消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。特定の電流波形（半波整流）を有する機器（一部のドライヤー、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電熱機器や温水便座など）やモーターで作動する機器（一部の掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）、運転開始時に大きな電流が流れる機器を使用した場合、保護機能が働き、システムの運転が停止する場合があります。また、アースを必要とする機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。また、蓄電池残量・周囲温度等の条件により保護機能が働き、放電電力が抑制されることがあります。蓄電池連携型パワーコンディショナ利用時は、発電電力が小さいときパワーコンディショナの定格出力まで出力されない場合があります。発電電力が低下し蓄電池残量がない場合や保護機能が働いた場合、家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転時の発電量と停電時に電力を供給するコンセント等からの消費量は積算されません。**
  自立運転時に太陽光発電した電力量と停電時に電力を供給するコンセント等で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のパワーコンディショナの定格出力 自立運転時欄をご確認ください。

⚠ 警告

専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が停電時に電力を供給するコンセント等につないだ電気機器の消費電力より小さい時は蓄電池から電力を補いますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。

メモ

- 停電時に電力を供給するコンセント等の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 停電時に電力を供給するコンセント等には平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

蓄電池システムのみをお使いの場合

自立運転では、蓄電池に蓄えた電力を専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に供給します。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 56 ページ）。**
  自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（☞ 41 ページ）。
- **停電時に電力を供給するコンセント等を使用してください。**
  自立運転では、専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）のみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセント／配線は使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **パワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器が使用できます。**
  消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。
  特定の電流波形（半波整流）を有する機器（一部のドライヤー、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電熱機器や温水便座など）やモーターで作動する機器（一部の掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）、運転開始時に大きな電流が流れる機器を使用した場合、保護機能が働き、システムの運転が停止する場合があります。また、アースを必要とする機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。蓄電池残量・周囲温度等の条件により保護機能が働き放電電力が抑制されることがあります。家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。
  デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転時の発電量と停電時に電力を供給するコンセント等からの消費量は積算されません。**
  自立運転時に停電時に電力を供給するコンセント等で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のパワーコンディショナの定格出力 自立運転時欄をご確認ください。

⚠ 警告

専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）に以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
自立運転時には、蓄電池より電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。



- 停電時に電力を供給するコンセント等の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 停電時に電力を供給するコンセント等には平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

太陽光発電システムのみをお使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気を自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線／専用分電盤に供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。自立運転では、発電した電力が停電時に電力を供給するコンセント等に接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 56 ページ）。**
- **太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。**
  夜間など発電できないときは、自立運転できません。
- **停電時に電力を供給するコンセント等を使用してください。**
  自立運転では、自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線／専用分電盤のみに発電電力が供給されます。停電時にその他のコンセント／配線は使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。**
  太陽光発電で発電した電力よりも停電時に電力を供給するコンセント等に接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転できません。
  停電時に電力を供給するコンセント等で使用できる電力は最大でパワーコンディショナの定格出力（※）までです。消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。
  特定の電流波形（半波整流）を有する機器（一部のドライヤー、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電熱機器や温水便座など）やモーターで作動する機器（一部の掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）、運転開始時に大きな電流が流れる機器を使用した場合、保護機能が働き、システムの運転が停止する場合があります。また、アースを必要とする機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。
  デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転が自動停止した翌日は、手動で自立運転を開始してください（☞ 56 ページ）。**
  自立運転していると、日の入りとともに自動的に運転を停止しますが、翌朝に日の出を迎えても自動的に運転を開始しません。自立運転をおこなう場合は、手動で自立運転を開始してください。
- **自立運転時の発電量と停電時に電力を供給するコンセント等からの消費量は積算されません。**
  自立運転時に太陽光発電した電力量と停電時に電力を供給するコンセント等で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のお使いのパワーコンディショナの定格出力 自立運転時欄をご確認ください。

⚠ 警告

自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線／専用分電盤に以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が停電時に電力を供給するコンセント等につないだ電気機器の消費電力より小さい時は、運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。

メモ

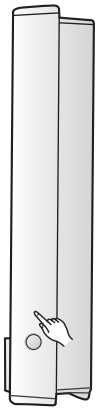
- 停電時に電力を供給するコンセント等の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 停電時に電力を供給するコンセント等を設置するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 自立運転用コンセントは平常時は電力が供給されません。専用コンセント／専用配線／専用分電盤の平常時の使用については、お買いあげの販売店・工事店にご確認ください。（蓄電池を接続していない蓄電池連携型パワーコンディショナを設置している場合、停電時に電力を供給するコンセント等を連系運転中に使用すると、機器構成によってはエラーにより運転が停止する可能性があります。）

自立運転に切り替える

以下の操作で自立運転をおこなうことができます。

●停電時に自立運転に切り替えると、太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます。
●接続されている機器の消費電力が、自立運転で使用できる電力より大きい場合、エラー画面（E-32 等）が表示されることがあります。その場合は接続された機器を減らしてください。（☞ 68 ～ 70 ページ）
●停電から復帰したら、必ず連系運転に戻してください。ただし、自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 41 ページ）。







1 右側面の 運転切替ボタンを押す

運転 / 停止、連系 / 自立設定画面が表示されます。

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 13 ページ）。

※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 41 ページ）。切り替えが終了するまでしばらくお待ちください。

2 自立 をタップする

自立運転モードに切り替わります。

3 運転 をタップする

自立運転を開始します。

運転の開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

連系運転に戻す

以下の操作で連系運転に戻すことができます。

1 右側面の 運転切替ボタンを押す

2 連系 をタップする

3 運転 をタップする

メモ

●太陽電池パワーコンディショナをお使いのとき、自立運転に切り替わるまで 2 分程度かかる場合があります。
●お使いのシステムの接続機器によっては太陽電池パワーコンディショナの 自立 が非表示になる場合があります。
●蓄電池を接続したパワーコンディショナを 2 台設置している場合、蓄電池を接続したパワーコンディショナの一方を自立運転に切り替えると、他の 1 台も自立運転に切り替わります。連系運転の切り替えも同様です。
●自立運転時の発電量の表示値は、消費量と蓄電池の充電量に応じた数値となります。

出力制御とは

対象のお客様へ

経済産業省により、「再生可能エネルギーの最大限導入に向けた固定価格買取制度の運用見直し等について」が示され、省令が施行されました（2015 年 1 月 26 日）。それに伴い、遠隔出力制御に対応したシステムの導入が義務づけられました。出力制御の対象システムについては、各電力会社のホームページ等をご覧ください。
出力制御の設定が完了したシステムでは電力会社から配信される制御スケジュールにしたがって、発電の出力制御がおこなわれます。

トップ画面（出力制御対象のお客様）

出力制御スケジュールアイコン
出力制御スケジュールの取得状態を示したアイコンです。
インターネットに接続している場合のみ表示します。
スケジュールの取得に成功したときは青色で表示します。
スケジュールの取得に失敗したときは赤色で表示します。



出力制御中表示
出力制御スケジュールに従って出力が制御されたときに表示します。

メモ

- 出力制御をおこなう場合やインターネット回線を契約、解約する場合は販売店までご連絡ください。
- 出力制御をおこなう際に出力制御スケジュールを取得していない場合は、売電用の出力ができません。出力制御スケジュールには有効期限が設定されています（最大 13 ヶ月）。有効期限が切れると、売電用の出力が停止します。
- マルチエネルギーモニタの時刻を設定していないときは、出力ができません。
- インターネットに接続して出力制御をおこなう場合、あらかじめネットワークの設定（☞ 44 ～ 48 ページ）をおこなってください。
- 出力制御スケジュールで指示されたパワーコンディショナの出力上限は、必ずしもその出力を保証するものではありません。天候などによる発電低下や自家消費を考慮した制御によって、出力上限が示す出力と実際の出力が異なることがあります。
- インターネットに接続しない場合には、１年に１回出力制御スケジュールの更新を行う必要があります。また、インターネットに接続している場合と比べて発電機会の損失が多くなる可能性があります。

出力制御情報を確認する

対象のお客様へ

出力制御スケジュールの確認と出力制御スケジュールの取得をおこないます。
また、スケジュールサーバーとの通信テストをすることができます。

出力制御スケジュールを確認する



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［出力制御情報］をタップする



2 ［出力制御スケジュール］をタップする

取得しているスケジュールを表示します。

※ スケジュールを取得していない場合は選択できません。



3 日付をタップして、出力制御スケジュールを確認する

30 分ごとの出力制御スケジュールを表示します。

※ 当月から、最大 13 ヶ月分まで表示できます。

※ 出力制御が実施される日は赤字で表示されます。

- 戻る：月単位のスケジュール画面に戻ります。



スケジュールサーバーと通信テストをする

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［出力制御情報］をタップする

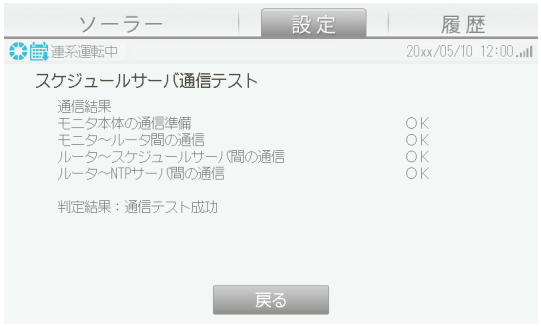


2 ［スケジュールサーバ通信テスト］をタップする



3 ［実行］をタップする

スケジュールサーバーとの通信テストを開始します。



4 通信テスト結果が表示されるので確認する

「NG」が表示される場合は、項目に合わせて下記の指示に従ってください。

「モニタ本体の通信準備」
→ モニタのネットワーク設定が正しくおこなわれているかご確認ください（☞ 44 ～ 48 ページ）。

「モニタ～ルータ間の通信」
→ モニタとルーター間の接続および設定が正しくおこなわれているかご確認ください。

「ルータ～スケジュールサーバ間の通信」
→ スケジュール情報配信システムのスケジュールサーバーとの通信に失敗しました。修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。

「ルータ～ NTP サーバ間の通信」
→ スケジュール情報配信システムの NTP サーバーとの通信に失敗しました。修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。

- 戻る ：前画面に戻ります。

出力制御スケジュールを取得する

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［出力制御情報］をタップする



2 ［スケジュール取得］をタップする



3 ［実行］をタップする

出力制御スケジュールを取得します。



4 取得結果が表示されるので確認する

「失敗しました。」と表示される場合は、スケジュールサーバー通信テストをおこなってください。

- 戻る ：前画面に戻ります。

電圧アイコン が表示されたら

家庭内に供給される電圧が高くなりすぎると、家庭内の電気機器に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに電圧アイコンが表示されたときは、電圧の上昇を防ぐため、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。電圧が正常に戻ると、表示は消えます。

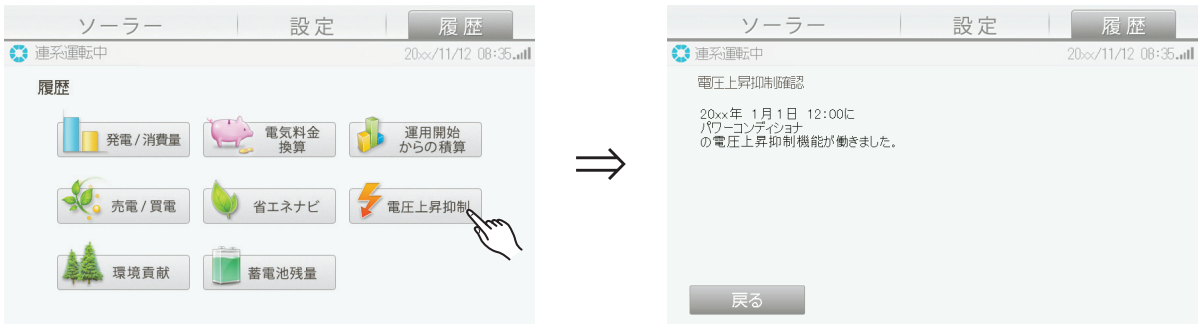


電圧アイコン：
電圧の上昇を防ぐため、出力を抑えています。
電圧は周辺世帯の電力使用量、売電時の出力上昇などによって変動することがあります。

■電圧抑制の履歴を確認するには

電圧上昇抑制機能が動作した日時を確認できます（最新の 1 件のみ）。

履歴のトップ画面から 電圧上昇抑制 をタップすると、動作した日時が表示されます。



■電圧上昇とは

朝夕食時など、多くの家庭が一斉に水道の水を使うと水圧が下がり水の流れが弱くなるように、電力会社から供給されている電力も、多くの家庭が一斉に電力を使うと電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなったり、逆に電力の使用量が減ると電圧が高くなったりすることがあります。
一方、水が水位の高い所から低い所に流れるように、電力も電圧の高い所から低い所に流れるため、電力会社へ売電する場合、パワーコンディショナの出力電圧は電力会社側の電圧よりも高くなります。
このことから、電力会社側の電圧が高くなったときに売電する場合は、パワーコンディショナの出力電圧もさらに高くなります。
このようなさまざまな要因が重なりパワーコンディショナの出力電圧が高くなりすぎると、ご家庭内の電気機器の破損、寿命低下を引き起こすおそれがあるため、パワーコンディショナは出力電圧を監視し設定電圧値以上高くならないように出力を一時的に抑制する保護機能を備えています。
電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧値は、パワーコンディショナの屋内配線による電圧上昇値などを考慮して、電力会社との協議のうえで決定されます。

メモ

- 電圧アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、お買いあげの販売店または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご相談ください。
- 電圧アイコンが表示されると、蓄電池の充電がはじまることがあります。これは、売電することができない発電電力を蓄電池に充電することで、電力を有効活用しています。

温度アイコン が表示されたら

パワーコンディショナ内部の温度が高くなりすぎると、パワーコンディショナに悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度アイコンが表示されたときは、温度の上昇を防ぐため、パワーコンディショナ出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。



温度アイコン：
パワーコンディショナ内部の温度上昇を防ぐため、出力を抑えています。

メモ

- 温度アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご相談ください。

温度範囲外アイコン が表示されたら

蓄電池内部の温度が動作温度範囲を外れた状態で充放電をおこなうと、蓄電池に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度範囲外アイコン が表示されたときは、温度が動作温度範囲に入るまで、一時的に、充電または放電を停止しています。この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。自立運転時には、温度範囲外アイコン は表示されず、エラー表示されます。



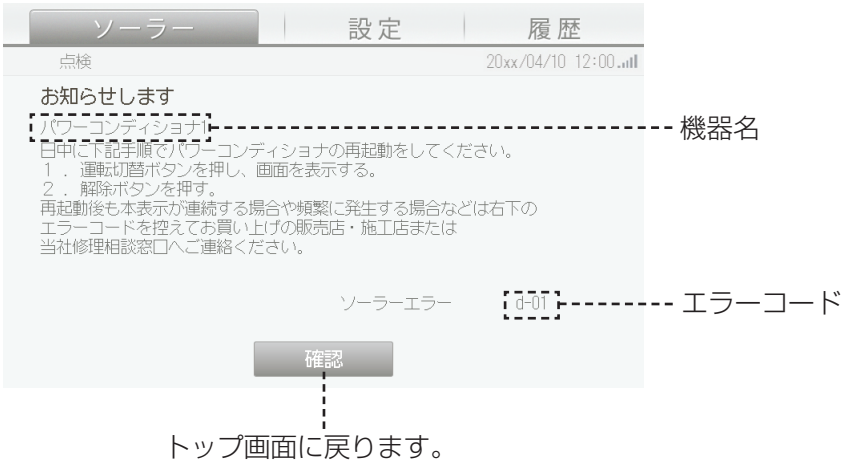
温度範囲外アイコン：
蓄電池の温度が動作範囲外になると、パワーコンディショナの充電または放電を停止します。充電時と放電時では動作温度範囲が異なるため、が表示されても、放電をおこなう場合があります。

メモ

- 温度範囲外アイコンが頻繁に表示したり、長時間消えないときは、修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご相談ください。
- 蓄電池の動作温度は、蓄電池内部の測定温度のため外気温と一致しない場合があります。また、外気の状態や蓄電池の運転状態によって外気温との差は変動します。

「お知らせします」と表示されたら

マルチエネルギーモニタに「お知らせします」と表示され、以下のような画面が表示されたときやタブに ⚠ が表示されているときは、何らかのエラーが発生しています。画面に表示される対処法に従って、ご対応ください。
修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にエラーをご連絡いただくときは、エラーメッセージの末尾に表示されるエラーコード（アルファベットと２桁の数字）と「お知らせします」の下に表示される機器名を合わせておしらせください。



蓄電池を接続したパワーコンディショナのエラーの場合にも、「ソーラーエラー」と表示されます。

いつでも便利なWebサービス【故障診断ナビ】

故障かな?とお困りのときは、
いつでも便利なWebサービス「故障診断ナビ」をお試しください。

https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/solar/navi_top.html

スマートフォンや携帯電話はこちらから

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	トップ画面上部に電圧アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により出力電圧が設定電圧以上高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、電圧が正常に戻ると表示は消えます。なお、パワーコンディショナの電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧は電力会社との協議によって決められています。	61
	トップ画面上部に温度アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により温度が高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、温度が正常に戻ると表示は消えます。	62
	トップ画面上部に温度範囲外アイコンが表示される	蓄電池の保護機能により、蓄電池の温度が動作温度範囲外になると、パワーコンディショナの充電または放電を停止します。通常は故障ではなく、温度が動作温度範囲内になると、表示は消えます。	62
	トップ画面左上に運転状態表示がない	パワーコンディショナを複数台設置しているときは、トップ画面左上に運転状態は表示されません。各パワーコンディショナの運転状態はマルチエネルギーモニタの運転状態表示ランプで表示します。	14、18
	トップ画面の消費電力が大きい	消費電力は、総発電電力（発電電力＋外部発電電力）と売買電力および充放電電力から計算しています。 画面中央部の発電電力、消費電力、売買電力、充放電電力だけでなく、外部発電電力も計算式に含まれますのでご注意ください。 なお本機は発電電力に外部発電電力を含んだ総発電電力表示が可能です。その総発電電力と売買電力をもとに計算される消費電力も正しく表示されます。 ただし、発電電力量をもとに計算される以下の項目に関しては外部発電量は含まれません。 （積算発電量、CO_2 削減量換算、成木換算、石油換算、ピーク発電）	–
	ピーク発電の履歴でパワーコンディショナの定格出力以上の値が表示される	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電量がパワーコンディショナの定格出力以上となります。 このとき、パワーコンディショナで定格出力以上であることを感知して、通常の出力範囲へ抑制しますが、瞬間的な発電量をピーク発電として記録することがあります。通常は故障ではありません。	–
	トップ画面で消費電力が瞬間的に大きく変動する	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電電力が変動することがあります。通常はその変化に合わせて、売買電力、消費電力が変化します。マルチエネルギーモニタとの通信のタイミングによっては発電電力は変化し、売買電力は変化しない場合があります。消費電力は発電電力と売買電力から計算しているため、瞬間的に消費電力が大きく変動したように表示されることがあります。通常は故障ではありません。	–
	運用開始日がすでに設定されている	運用開始日は、設置工事時に時刻設定された日を記憶しています。運用開始日は変更できます。	29
	「お知らせします」と表示される	何らかのエラーが発生しています。画面の指示に従ってください。また本書にエラーメッセージ、エラーコードの一覧表が記載されています。	63、 68～70
	マルチエネルギーモニタの画面に輝点や黒点が出る	画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色ムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	–
	マルチエネルギーモニタが再起動する	マルチエネルギーモニタの安定動作をはかるために、定期的に再起動をおこないます。お客様のデータは保持されています。	–
	ディスプレイ内のボタンを押してもなかなか反応しない	保護フィルムが貼ってある場合は、はがしてください。 タッチパネルが汚れている場合は、お手入れをしてください。それでも反応しない場合は、「タッチパネル設定」をおこなってください。タッチパネルの位置補正をします。	50 33

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	無線 LAN 機能が利用できない	無線 LAN の設定が正しいか確認してください。	44 ～ 48
		ルーターと他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。	–
		無線 LAN の電波の強さが十分か確認してください。	15
		電子レンジや冷蔵庫などからの電磁波がルーターの電波に影響しないようにはなして設置してください。	–
		ルーターが IEEE802.11b/g/n で動作しているか確認してください。 ルーターの動作を確認する方法については、ルーターに付属の取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。	–
		ひかり回線など IPv6 を利用されている場合、まれに無線 LAN が接続できなくなることがあります。これは映像や音声の大量のデータを利用するアプリケーションと同時に利用したときに、通信機器が処理しきれないためです。詳しくはお使いのルーターのメーカー、またはご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。	–
	トップ画面の消費電力と履歴の消費量の値が異なる	トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。履歴の消費量は総発電量（発電量＋外部発電量）と売電量と買電量から計算しています。 ・消費量＝（発電量＋外部発電量）＋買電量－売電量 履歴の消費量は、充電量がある時にはその分増加し、放電量がある時にはその分減少した値となります。	14 ～ 15 22 ～ 23 25
	自立運転にすると、トップ画面の発電電力が 0kW になる	太陽光発電システムのみをお使いの場合は、停電時に電力を供給するコンセント等を使用しないと発電電力が 0kW になります。 自立運転用コンセントにつないだ機器を動作させたときは、消費電力が発電電力としてトップ画面に表示されます。	53 ～ 55
	自立運転にすると、停電時に電力を供給するコンセント等に機器をつないでいないのに放電中と表示される／消費電力が表示される	トップ画面の消費電力は計算より算出した値を表示しております。このため、天候やシステム機器の運転状況により、機器をつないでいない場合でも消費電力が 0kW にならないことがあります。	–
	トップ画面に「出力制御中」の文字や出力制御スケジュールアイコンが表示される	出力制御の設定がされており、出力制御スケジュールにしたがって発電量を制御しています。出力制御スケジュールアイコンは、通常は青色で表示されます。 **・「出力制御中」の文字** 出力制御スケジュールにしたがって出力を抑制している状態です。 **・出力制御スケジュールアイコン** 更新スケジュールの取得に失敗している状態では赤色で表示されます。ネットワーク設定を確認してください。	42 ～ 48 57 ～ 60
	「ソフトウェア更新中」と表示され、ボタン操作しても反応しない	パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、EV 用コンバータのソフトウェアバージョンアップをおこなっています。バージョンアップ中はモニタ画面およびボタン操作はできません。バージョンアップが完了するまでしばらくお待ちください。15 分から 1 時間程度かかります。	43

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	履歴が表示されない	履歴データは、1 日 1 回データ集計をおこないマルチエネルギーモニタに記録されます。そのため、その時に停電等でマルチエネルギーモニタに電力が供給されていないと、データが記録されず、履歴が表示されません。	−
		マルチエネルギーモニタに保存されている各電力量データや電気料金換算データなどはマルチエネルギーモニタの故障、パワーコンディショナの故障や長時間の停電があると正しく保存されないことがあります。この様な時には上記データの復旧はできないことがあります。	
その他	自立運転時にエラーが表示され、運転が停止した	・停電時に電力を供給するコンセント等につないでいる機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。停電時に電力を供給するコンセント等につながれている機器を減らすことで正常に戻ります。 ・蓄電池連携型パワーコンディショナをお使いの場合、単相３線の各線間（U 相 -O 相間／ W 相 -O 相間）に接続されている家電製品の消費電力に差があると、自立運転を停止することがあります。各線間の消費電力の差が小さくなるようにしてください。各線間（U 相 -O 相間／ W 相 -O 相間）の配線状態は、家屋の設計・施工業者（住宅メーカーなど）にご確認ください。	−
	専用コンセント／専用配線／専用分電盤／分電盤（家中まるごと停電対応）が使えない	停電時に電力を供給するコンセント等につないでいる機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。停電時に電力を供給するコンセント等で使用できる電力は最大でパワーコンディショナの定格出力までです。停電時に電力を供給するコンセント等に接続している機器を減らしてください。 連系運転時は、停電時に電力を供給するコンセント等につながる回路ブレーカーが下りていないか確認してください。回路ブレーカーが下りていたら、接続した機器を減らしたあとに、回路ブレーカーをあげてください。	−
	パワーコンディショナの運転音が発生しない	空冷ファンが搭載されている機種では、気象や日照条件によって、パワーコンディショナの温度が上昇することで空冷ファンが動作します。温度上昇が少ない、または夜間でパワーコンディショナが停止している、などで空冷ファンが動作していない場合は、パワーコンディショナから運転音が発生しません。 通常は故障ではありません。	−
	発電量が低下する	気象条件や設置条件、出力制御等により、発電量が低下する場合があります。	57
	売電・発電しない （出力制御対象のお客様）	出力制御スケジュール（固定スケジュール）の有効期限が切れると売電用の出力が停止します。「出力制御情報」から固定スケジュールの有効期限が切れていないか確認してください。	58
		マルチエネルギーモニタが時刻同期に失敗した場合、出力が停止します。インターネット回線を接続している方については、時刻同期をおこなうサーバーとの通信に長期間失敗すると出力が停止します。ネットワーク設定を確認してください。インターネット回線を接続していない方については、長時間の停電などによってマルチエネルギーモニタに電源が供給されない場合、設定時刻が消失して出力が停止することがあります。	44～48 58～60
	ラジオ・テレビなどの電波の受信状態が悪い	ラジオ･テレビなど電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタが近すぎることで受信障害を引き起こすことがあります。パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから 3m 以上離してください。	5
	家電製品を使用しても蓄電池の放電電力が増えない／蓄電池から放電されない	・家電製品のご使用状況によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電量が増加する場合があります。 ・周囲温度や使用する機器、蓄電池残量などの条件により、パワーコンディショナおよび蓄電池の保護機能が働き、放電電力を抑制することがあります（たとえば低温時や残量が少ない場合など）。	−

	こんなときに	確認してください	ページ
その他	蓄電池残量が残っている状態でも蓄電池から放電されない	・キープ残量設定を確認してください。 ・蓄電池残量や周囲温度などの条件により、蓄電池保護のため、キープ残量になる前に放電を停止する場合があります（たとえば低温時など）。 ・蓄電池モジュール内のセル電圧のアンバランスを検知すると、蓄電池残量が 0%以上でも放電されずに待機状態となることがあります。 蓄電池残量が 100%になるまで充電することで、蓄電池モジュール内のセル電圧のバランスを取ることができます。 ・HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池の放電をおこなわない場合があります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます。	–
	自立運転時に蓄電池残量が 0%になる前に放電が停止する	災害による長時間停電等により、蓄電池に数日間充電されない状態が続いた後でも、正常に蓄電池システムが起動できるように、自立運転時は蓄電池残量が 0%になる前に放電を停止する仕様になっています。	–
	満充電にならない／充電電力が小さい	・HEMS と連携している場合は、HEMS から蓄電池を自動制御される場合があります。HEMS の取扱説明書をご確認ください。 ・使用する機器と契約電力設定によっては蓄電池への充電が抑制されることがあります。 ・周囲温度や蓄電池残量などの条件により、パワーコンディショナおよび蓄電池の保護機能が働き、充電電力を抑制することがあります（たとえば低温時など）。	–
	充電設定していない時間帯にも関わらず、充電が開始される	蓄電池残量が少ない状態が続くと、蓄電池保護のため、自動的に充電がおこなわれる仕様になっています。	–
	蓄電池のキープ残量設定値が、勝手に変わる	HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池のキープ残量設定値が変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます。	14、17、39
	消費量や発電量は変わらないのに、蓄電池の持続時間が短くなってきた気がする	蓄電池の容量が減っていないか確認してください。	40
	蓄電池実容量診断中と表示されているが、充放電していない	システムの状況に応じて制御しており、診断中は充放電をしないことがあります。	40
	マルチエネルギーモニタを操作していないのに蓄電池運転モードが切り替わる	HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池運転モードが変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます。	14、17、39
	蓄電池残量の変化が早くなった気がする	・蓄電池残量が少ない場合や満充電近くでは、蓄電池残量の自動補正のため、残量変化を早く感じることがありますが故障ではありません。 ・蓄電池残量が 100%になるまで充電することで、蓄電池残量のズレをリセットするように補正します。長期間満充電されていない場合は、充電モード等で満充電にしてください。	36
	キープ残量値で放電停止したあと、蓄電池残量が低下する	・待機電力があるため、待機時間が長い場合は、蓄電池残量が低下することがあります。 ・特に低温時には、温度等により電池残量が自動補正され、実際に使用できる容量が少なくなります。 ・停電に備えたい場合は、キープ残量を上げることをご検討ください。	39

エラーコード概要

・エラーが発生した場合、マルチエネルギーモニタにエラーメッセージが表示されます。（☞ 63 ページ）
エラーメッセージの最後に表示されるアルファベットと 2 桁の数字はエラーコードです。修理に関するご相談窓口にご連絡いただくときは、エラーコードと「お知らせします」の下に表示される機器名もご連絡ください。
・エラーコードと内容は、下記をご覧ください。

故障かな?とお困りのときは､いつでも便利なWebサービス｢故障診断ナビ｣をお試しください。
取扱説明書や画面エラーメッセージよりも､詳しく説明しています。
https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/solar/navi_top.html

d-		● 太陽電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため運転を停止しています。
	01 ～ 30、32 ～ 40、51 ～ 54	日中（日照のある時）に、パワーコンディショナを再起動してください。（☞ 52 ページ）それでも表示が消えない場合または再発する場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	41、45 ～ 47、55、56、58 ～ 63	エラーコードを控えて、お買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	31、57	（連系運転時）停電時に電力を供給するコンセント等に接続された機器を外し、日中（日照のある時）に、パワーコンディショナを再起動してください。（☞ 52 ページ） （自立運転時）停電時に電力を供給するコンセント等から特定の電流波形を有する機器（一部のドライヤーなど）を外し､日中（日照のある時）に､パワーコンディショナを再起動してください。（☞ 52 ページ） それでも表示が消えない場合はエラーコードを控えて修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。
E-		● 太陽電池に関するパワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。 安全のため、運転を一時的に停止しています。
	11 ～ 22、24、25、27 ～ 31、34、35、38、39、51 ～ 54、61、62	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
	23、26、33、36	パワーコンディショナの温度が上昇しています。 パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。 それでも表示が消えない場合または再発する場合は､エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	32	停電時に電力を供給するコンセント等に接続された機器を減らしてください。ただし、自立運転で使用できる電力が少ない場合（発電電力が低下、または蓄電池残量が少ない場合など）は、機器を減らしてもエラーが消えない場合があります。
	37	停電時に電力を供給するコンセント等に接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続されている機器を減らしてください。
	55、60、63	エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	57	（連系運転時）停電時に電力を供給するコンセント等に接続された機器を外してください。 （自立運転時）停電時に電力を供給するコンセント等から特定の電流波形を有する機器（一部のドライヤーなど）を外してください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。

F-		● 停電など商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。
	00 ～ 09	商用電源の異常が回復してから約5分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電ではないのに 10 分以上この表示が消えない場合は、分電盤内や、その近くにある太陽光発電専用ブレーカーの入れ直しをおためしください。改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。停電の場合は、自立運転に切り替えると太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます。停電したときは（☞ 52 ページ）をご覧ください。
	10	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
K-		● 蓄電池の異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。
	00 ～ 50、 55 ～ 80	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
	52、53	蓄電池の容量が減っている可能性があります。 しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
	85	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電を停止しています。 しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
	90 ～ 93	蓄電池の内部温度が動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
L-		● 蓄電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため運転を停止しました。
	00、25、 30、 45 ～ 54、 61 ～ 79、 81 ～ 96	エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	01 ～ 24、 26 ～ 29、 31 ～ 44、 55 ～ 60、 80、 97 ～ 98	パワーコンディショナを再起動してください。（☞ 52 ページ）それでも表示が消えない場合または再発する場合は、エラーコードを控えてお買い上げの販売店、または修理に関する相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
M-		● V2H システムに関する異常を検出し、安全のため運転を停止しています。
	00 ～ 99	詳細内容は V2H システム取扱説明書をご確認ください。
P-		● 太陽電池または蓄電池の異常を検出しました。 異常を検出した太陽電池または蓄電池の運転は停止しますが、運転に影響しない太陽光発電システムまたは蓄電池システムは正常に動作します。
	10、12	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
	11、13	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています。外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	15、29、 33 ～ 34、 38 ～ 45、 59 ～ 66、 72 ～ 74	エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	16 ～ 28、 30、 46 ～ 58	マルチエネルギーモニタの左側面にあるリセットボタンをおして、再起動をおこなってください。（☞ 12 ～ 13 ページ）改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関する相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。

（つづく）

P-（つづき）		
	31	専用入力用ブレーカー（専用コンセントの電気をオンオフするブレーカー）がオフになっていないかご確認ください。オフの場合は入れ直しをおためしください。改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	32	停電時に電力を供給するコンセント等に接続された機器を減らして、消費電力を下げてください。改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	35 ～ 37、67	蓄電池の容量が減っている可能性があります。 エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
Q-		● V2H システムに関する異常を検出し、システムの一部を停止しています。
	00 ～ 99	詳細内容は V2H システム取扱説明書をご確認ください。
R-		● マルチエネルギーモニタの内部処理に異常を検出しました。
	00 ～ 09、15 ～ 16	エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	14	エラーコードを控えてお買いあげの販売店にご連絡ください。
	20 ～ 21	・スケジュール通信取得で設定している場合は、ネットワーク設定を確認して、スケジュール取得をおこなってください。（☞ 60 ページ）取得ができない場合は、エラーコードを控えて修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご連絡ください。 ・スケジュール手動取得で設定している場合は、お買いあげの販売店にご連絡ください。
	23	ネットワーク機器の接続および設定をご確認ください。設定を見直しても改善しない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
S-		● 電力センサー／主幹用電流センサー、外部発電センサー、発電センサー等、センサーに関する異常があります。
	00 ～ 03、05 ～ 21	停電の場合は、回復するまでお待ちください。停電でない場合は、分電盤内やその近くにある太陽光発電専用ブレーカーの入れ直しをお試しください。それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	04	エラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
U-		● 蓄電池に関するパワーコンディショナの異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。
	00 ～ 34、39 ～ 84、86 ～ 97	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
	35 ～ 38	パワーコンディショナまたは蓄電池用コンバータの温度が高くなっています。パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータの周囲に物が置かれていないかご確認ください。 対処しても表示が消えない場合はエラーコードを控えてお買いあげの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。
	85	エラーコードを控えてお買い上げの販売店、または修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）へご連絡ください。



メモ

●エラーの内容は本書発行後に変更になる場合があります。マルチエネルギーモニタに表示される内容をご確認ください。

保証とアフターサービス

製品の保証

●シャープ販売代理店を通じてご購入されたお客様は、同梱されております保証書の「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。シャープ販売代理店以外でご購入されたお客様は、ご購入先販売店の保証取り決めをご確認ください。

補修用性能部品について

この太陽光発電システムと蓄電池システムの補修用性能部品を、製造打切後、10 年間保有しております。
なお、移設に要する費用は、お買いあげの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには（出張修理）

マルチエネルギーモニタの表示をご確認のうえ、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切って運転を停止したあと、お買いあげの販売店もしくは修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）に修理をご依頼ください。お客様ご自身での修理はたいへん危険ですので、絶対におこなわないでください。

●保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規程に従って修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修理するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他、修理に付帯する部材を含む場合もあります。
出張料	お客様のご要望により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

※シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の取扱いの詳細については、https://corporate.jp.sharp/privacy/index-j.html をご参照ください。

転居や廃棄されるときは

太陽光発電システムまたは蓄電池システムを転居などにより別の場所に移されるとき、または廃棄されるときは、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になることがありますので、必ずお買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口（☞裏表紙）にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買いあげの販売店もしくは修理に関するご相談窓口（☞裏表紙）にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

お問合わせの前にもう一度「故障かな？と思ったら」（61 ページ）をご確認ください。

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【会員サービス】「COCORO MEMBERS」入会で製品情報を上手に活用

ご利用製品を「MY家電登録」いただくと、別売品などのサポート情報が手軽にご利用頂けます。

https://jp.sharp/support/sp/cocoro/cocoro.html

COCORO MEMBERS
MY家電登録はこちら

いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス!
よくあるご質問の確認や、チャットでの質問ができます。

シャープ　お問い合わせ　検索

https://jp.sharp/support/

スマートフォンや
携帯電話はこちらから

■ QRコードについて
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。誘導されるサイト、および動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。

使いかた・お手入れなどのご相談窓口　おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（年末年始を除く）　●月曜～土曜：**9:00～18:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 48 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 190

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
050 - 3385 - 8374	**06 - 6792 - 5993**
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

修理に関するご相談窓口　おかけ間違いのないようにご注意ください。

故障かな?とお困りのときは、いつでも便利なWebサービス「故障診断ナビ」をお試しください。故障と診断された場合は、そのままネットで修理申し込みができます。

https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/solar/navi_top.html

お電話でのご相談は下記へ

受付時間（年末年始を除く）　●月曜～土曜：**9:00～18:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
050 - 3385 - 8374	**06 - 7732 - 8086**
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

シャープ株式会社
〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号

所在地・電話番号・受付時間については、変更になることがあります。（2026年8月現在）

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C007718
www.fsc.org

この取扱説明書は植物油インキを使用しています。

TINSJ1247SNZG
26H⑨